

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
延宝元年 (1673年)			金武間切から4村、読谷山間切から8村を分け恩納間切とし、それを大里王子朝亮と佐渡山親方安治に領地として与えた。(球陽)
文久3年 (1863年)			ペリー隊員の沖縄訪問(ペリー一行訪問記に恩納について記載)
明治15年 (1882年)			恩納番所の長屋を修繕し、間借りする形で恩納小学校が誕生し、教育発祥の地になった。
明治30年～ (1897年)			国頭地方は国頭郡となり地方役所も郡長と改称「恩納番所」を「恩納間切役場」に、地頭代以下の役員も廃して新たに間切長、収入役、書記を置き、村掟を村頭におきかえた。
明治41年4月1日 (1908年)		當山 正禄	○今までの「間切」を「村」に、村を廃して「字」に改めた。間切長を村長にかえ、村の字が区に改められ区長がおかれた。恩納村は10ヶ村を引きついで1村10ヶ字(名嘉真、安富祖、瀬良垣、恩納、谷茶、富着、前兼久、仲泊、山田、真栄田)となる。 ○初代村長として当山正禄氏が就任 ○初代収入役として津嘉山朝光氏が就任
明治41年12月12日 (1908年)			當山正禄氏が村長退任
明治42年6月 (1909年)		金城 幸成	知事によって、金城幸成氏が第2代村長任免
大正6年6月 (1917年)		當山 正順	第2代村長の金城幸成氏が退任により、知事によって、當山正順氏が第3代村長任免
大正9年 (1920年)			「村のことは村民の手によって」という自治制施行
大正9年12月12日 (1920年)			初代助役として大城勝栄氏が就任
大正11年 (1922年)			字安富祖から喜瀬武原が分離して喜瀬武原区となる。
大正12年4月1日 (1923年)			第3代収入役として仲村仁建氏が就任(先代として第2代収入役として仲嶺康保氏が就任したが、就任日が不明)
大正15年9月 (1926年)		長嶺 安心	第4代村長として長嶺安心氏が就任
昭和3年11月10日 (1928年)	6,094人		我が村が生んだ自由奔放、かつ大胆な発想で激しい情念を歌い上げた女流歌人恩納ナビ一の碑を、御即位祈念として景勝の地万座毛に建立
昭和4年6月 (1929年)		長嶺 安心	第5代村長として長嶺安心氏(2期目)が再任

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
昭和5年3月 (1930年)	6,070人		農業生産の増殖を図るため、水稻を従来の在来種から県外種(台中65号)に切替し、二毛作として全面植付を実施する。
昭和5年4月1日 (1930年)			第4代収入役として大城保光氏が就任
昭和6年6月 (1931年)			沖縄唯一の温泉として、大和浜に山田温泉の名称で、那覇市垣花町出身、上原真吉が開設
昭和7年 (1932年)			第6師団長陸軍中尉香椎閣下が、上海事変出征昭和7年3月1日廟巷鎮に於いて戦死した故陸軍歩兵伍長仲西智助之焼香に立ち寄り、その後万座毛に於いて恩納村在郷軍人に訓辞を与える。
昭和7年 (1932年)			畜産振興の一環として改良和種牛(繁殖牛)の増殖を図るため、県畜産課職員に村技手伊波得成氏を鳥取県及び大分県に派遣購入実施し補助牛として畜産農家に飼育される。
昭和7年9月 (1932年)			○水稻県外種の植付を記念して、字恩納地内、お殿先に稲作記念碑を建立する。 ○村内学校給食始まる。
昭和8年3月 (1933年)			新嘗の宮中の祭儀(しんじょうさい)に新穀を献上する斎田(字恩納地内伊場原に指定)に沖縄県知事井野次郎閣下及び各関係者立合の下にその田植式が情熱な恩納乙女18名の手によって、いとも厳かに挙行された。
昭和8年5月 (1933年)			第7回県会議員に長嶺安心氏(57歳)当選
昭和8年 (1933年)			動力精米所が初めて恩納産業組合に設置
昭和8年6月 (1933年)		長嶺 安心	○第6代村長として長嶺安心氏(3期目)が再任 ○第2代助役として比屋根良績氏が就任(任期不明)
昭和9年 (1934年)			動力製糖工場が初めて字安富祖に設置
昭和9年 (1934年)			字恩納地内、当袋原及び前袋原(水田)の耕地整理事業が実施され昭和10年に完了
昭和10年 (1935年)			沖縄県振興計画経済更正指定村となり、その作業に着手する。
昭和10年 (1935年)	6,012人		お茶の村内需要を図るためにお茶の植栽を奨励し、名嘉真山並びに恩納ウフサク山に植付を開始する。
昭和11年 (1936年)			黒糖、畜産物並びに林産物等、及び生産資材需給物資等の輸送を容易にし、産業の振興を図るために産業組合でトラック(フォード)を購入して利用事業を行う。

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
昭和11年 (1936年)			経済更正指定村事業として産業組合に農業倉庫、字恩納に恩納会館が設置される。
昭和12年 (1937年)			村民の健康管理を図る目的で、恩納村診療所(入院室5)及び医師住宅を建設(現在の役場敷地)那覇市前島町出身の金城精一医師によって開院した。
昭和12年4月1日 (1937年)			第5代収入役として新里全豊氏が就任
昭和12年6月 (1937年)		長嶺 安心	第7代村長として長嶺安心氏(4期目)が再任
昭和12年7月 (1937年)			経済更正指定村事業の目的を達成するために各字農業実行組合を恩納産業組合に加入させ、村一円の共同組織として恩納産業組合に名称替え(組合長は長嶺安心村長)
昭和12年7月7日 (1937年)			日中戦争(支那事変)が開戦した。
昭和12年 (1937年)			名嘉真地内及び恩納地内に製茶工場を設置しお茶の製造を始める。
昭和12年4月1日 (1937年)			第3代助役として大城保栄氏が就任
昭和12年 (1937年)			村長の長嶺安心氏が沖縄県農会長に就任する。
昭和13年6月 (1938年)			日中戦争(支那事変)を長期化に備えて軍馬の補充を図る目的で、馬政局の命により軍用保護馬の指定登録が開始され、馬籍簿が整備される。
昭和13年8月 (1938年)			安富祖学校並びに山田学校の校舎建設整備と村長室が役場とは別棟にコンクリート建が建設される。
昭和14年1月 (1939年)			恩納村産業組合営製糖工場(22馬力)を恩納村下内勢高に設置。操業を開始する。
昭和14年 (1939年)			恩納村森林組合を設立して、森林保護、造林、施業の改善又は荒廃林地の普及を図る。
昭和14年 (1939年)			安富祖前袋原(水田)、名嘉真伊武部原(水田)の耕地整備事業を実施し、昭和16年で完了する。
昭和14年 (1939年)			全国産業組合大会(東京)に於いて、恩納村産業組合と組合長の長嶺安心が、全国産業組合中央会会頭千石興業太郎から表彰を受ける。
昭和15年3月 (1940年)			満州国成立(昭和7年)に伴い、国家建設の一環として、満州開拓団恩納村分村チチハルに伊波特成団長外50世帯入植させる。

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことがら
昭和15年8月 (1940年)			戦時食料の需給調整を図るために、命より米穀生産農家に対し、供出米の割合制度が行われ、その出荷作業が開始される。
昭和15年 (1940年)			保安林大造成事業が昭和9年から始まり、昭和15年で終了した。その功績として、帝国治山治水協会会長から表彰され銀杯を受ける。
昭和16年 (1941年)			戦時、食肉需給調整を図るため、養豚者に対し、豚肉の供出制度が施行され、それに伴い豚籍簿の整備により、強制供出が実施されるとともに自由売買と、とさつが厳禁された。
昭和16年5月 (1941年)			村長選挙に現役の長嶺安心氏が後進に道を開くということで、當山正堅氏に決定された。当時の村長選挙は、村会議員によって選挙されたものである。
昭和16年6月 (1941年)		當山 正堅	○第8第村長として當山正堅氏が就任 ○林産業組合販売事業の一環として、県産聯工場製の樽板材を用いて砂糖樽(黒糖120斤詰)の製造を農業倉庫で行い、村内の需要を充たす。
昭和16年12月8日 (1941年)			日本から英米に宣戦布告し、大東亞戦争が開戦した。
昭和17年7月 (1942年)			第9回県会議員に當山正堅(57才)当選、大政翼賛会勅使小倉侍従が銃後の日の丸作業状況及び名嘉真伊武部原耕地整備事業並びに保安林造成事業を視察される。その時、休けいされた森(下袋原)がその後侍従森と呼ばれている。
昭和18年12月 (1943年)			農業団体統合法案が第81帝国議会で成立し、農業団体法の公布、施行に伴い、各農業団体は一つの農業会に統一され、恩納村農業会と名称を替え、会長として大城保光氏が就任
昭和19年4月1日 (1944年)			○戦争を勝ち抜く為には、上意下達を徹底させる必要から、三百戸以上の字は、二分する様、知事の命により、字恩納から南恩納に行政区として分離する。区長として佐渡山安祐氏が就任 ○第4代助役として新里全豊氏が就任 ○第6代収入役として新城正成氏が就任 ○恩納村国民健康保険組合が厚生省から認可され、保健婦2名を配置し、保健業務を開始する。
昭和19年5月 (1944年)			恩納村字前兼久マガイ原に、かんがい溜池及び排水改良事業を行う。
昭和19年8月 (1944年)			戦斗配置のため、日本軍の一個連隊が恩納村に配置され、連隊本部を山田校に置き、駐屯後は軍民一体となり、陣地構築、防空壕構築並びに飛行場建設等の坑木伐採に徴用され、僅かな余暇と留守番の老幼の僅少労力を以て増産に励み、食料には不自由なく軍向け供出もことなく軍に協力した。
昭和19年10月 (1944年)	5,839人		10月10日の大空襲で避難並びに他市町村からの避難民受入準備作業に入る。

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
昭和20年3月 (1945年)			敵機来襲で軍の足手まといにならぬよう住民は、全員山に避難させるよう軍から下命され、直に当時の区長を通じ、かねて準備してある防空壕に避難させた。その後の防空壕生活は、連続の空爆、機銃掃射、艦砲射撃で恐怖と身動きも出来ない毎日の生活を続けていた。
昭和20年4月 (1945年)			遂に米軍は、南恩納以南各所の海岸から上陸を開始、氏の事実を知るや、住民は右往左往なす術を知らずその状況は惨たんたるものだった。幸いにも吾が村は、大森林の山があるので、予め構築してあった防空壕その他、各人思い思いの場所に避難するよう伝達した。当時、山での避難生活は、想像を絶するものがあった。山生活の期間中毎日のように多数の人々が米軍に捕虜され、石川、金武、羽地村、宜野座等の収容所に分散収容され、8月頃までにはほとんど収容された。
昭和20年8月15日 (1945年)			<p>太平洋戦争終戦</p> <p>ここに記しておきたいことは、当時、恩納岳に駐屯していた遊軍の員数は400人、恩納村民が5,000人、恩納村に避難していた他町民が5,000人位いたが、日時がたつに従い中南部の船橋が不利になるにつれ、軍民の避難者が各戦線から逃げのびた者を合わせ、数日中には、2万人余に達する一大避難所と化し、その為、日1日と食料の欠乏を来し、密林の中で激しい生存競争の生地獄と化した時に避難、恩納村住民特有の美德を発揮し、同胞愛を以て自分達の持ち物や田畑に残る食料等を分け与え励まし合いました為、他町村民の避難者を感激せしめた。</p> <p>それに、今次大戦に於いて名誉の戦死をとげられた故、島田知事の功績の一部を記して置き度い。氏は、戦争勃発と同時に沖縄県知事に任命され、死を覚悟に単身赴任せられ、赴任と同時に戦時食料確保の為、台湾に飛び空海の危険をも顧みず其の目的達成に尽力強力な交渉の結果、確保に成功したと聞く。其の功績は沖縄県民として、後世に忘れることの出来ない特筆すべき事項と思慮する。</p> <p>其の米が、恩納村に3,000袋の割当配給があり、其の半分の1,500袋が恩納村に保管され戦争中住民は、勿論避難民もこのお米があったからこそ終戦まで生き延びていたことは事実であり、恩納村民として、ひいては、沖縄県民の恩人であると思えらる。</p> <p>(大城保光氏記)</p>
昭和20年10月 (1945年)			<p>収容所からの帰村準備命令が出て直に、代表者会議を開き(石川において)村の先遣隊長に津嘉山朝信氏、隊員には役場吏員を以て組織し、主として各学校復旧に要する資材集めに主力を注いだ。</p> <p>隊員 平安名盛光(前兼久) 隊員 当山正次郎(谷茶) 隊員 桑江良行(安富祖) 隊員 当真嗣福(南恩納) 隊員 佐久本嗣松(恩納) 隊員 池原清(恩納) 以上、6名派遣される。</p>

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村 長	こ と が ら
昭和20年11月 (1945年)			先遣隊の仮事務所を山内盛吉宅に設置し、收容所からの受入準備作業に無償配給物資の取扱い並びに規格住宅の割当等で次に人員を増員する。 仲松弥篤(石川市役所より)、仕に津嘉山テル子、配給物資責任者に新里全豊、係に仲村好盛、金城(伊波)初枝、又吉(伊波)光子、規格住宅関係に津嘉山朝栄、仲村兼好
昭和21年1月 (1946年)			村民各收容所から引揚げ、割当資材による規格住宅建築及び農耕に励む。
昭和21年4月1日 (1946年)			第7代収入役に當真嗣福氏が就任
昭和21年4月4日 (1946年)		津嘉山 朝信	○戦後初代村長(第9代)に津嘉山朝信氏、米軍政府により辞令交付され、仮役場を南恩納(現在の山内盛文宅)に設置し、行政を開始するとともに13区行政区長を任命す。 (当時は村長が任命する。) ○村内各学校開校 ○戦前の村会議員を村政委員として、16名を軍が任命する。村政委員は村長の諮問機関のようなもので、従って議長は村長で委員からの正副議長は置かなかった。 村政委員に佐渡山安香(安富祖)、当山豊八(恩納)、富着信次郎(前兼久)、当山正度(谷茶)、喜納政徳(富着)、仲西智繁(南恩納)、當真嗣善(恩納)、大城勝二(仲泊)、仲村好吉(名嘉真)、金城利吉(安富祖)、佐渡山安祐(南恩納)、名城仁福(山田)、長浜長蔵(真栄田)、新城正成(名嘉真)、吉山盛太(真栄田)、呉屋良善(山田)
昭和21年5月1日 (1946年)			○恩納村字瀬良垣の太田部落と字恩納志喜根原を一つにして、太田行政区を新設する。初代区長として當真嗣太氏が就任 ○第5代助役として平安名盛光氏が就任
昭和21年6月 (1946年)			○役場を南恩納から字恩納地内に移転(大城保誠氏宅前の2501番地にトタン葺建物) ○恩納村農業組合成立し、(組合長、大城保光)事務所を役場敷地内に設置
昭和22年4月 (1947年)			村予算成立、住民負担による行政が始まる当時の現金収入といえば、薪販売による収入がそのほとんどで、これによって生活費及び公課に当てたものである。この薪は、我々の先祖や諸先輩の方が丹精に育成し、大事に残した山(村有林)からの立木切り出しによるもので、如何に山が人間生活にとって、極めて大事なものであるのかを知る。
昭和22年4月 (1947年)			教育基本法、学校教育法公布で、6. 3. 3. 4制教育制度の実施に伴い、そんな各学校に中学校併置

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
昭和23年 (1948年)			喜瀬武原区が、字喜瀬武原に名称変更をする。
昭和23年1月 (1948年)			沖縄の市町村制が公布される(軍政府指令第26号)。この公布によって「恩納間切役場」が「恩納村役所」に名称を替える。
昭和23年2月1日 (1948年)			地積測量が始まり(地籍図、土地台帳戦災)昭和24年に地籍図の作成が終わる。
昭和23年2月1日 (1948年)		伊波 得成	一般投票により、村長選挙(公選)が実施され伊波得成氏当選
昭和23年2月8日 (1948年)			市町村制公布に伴い村政委員は、村議会議員となり、その選挙は定数22名無投票で当選、任期が2年 島袋知長(名嘉真)、松崎賀仁(安富祖)、当山豊八(恩納)、当山正次郎(谷茶)、仲宗根勝三(仲泊)、伊波栄吉(真栄田(その後の塩屋))、宮城寛好(名嘉真)、大城堅繁(瀬良垣)、大城保行(恩納)、仲村兼盛(富着)、名城仁福(山田)、長浜真三郎(真栄田(その後の宇加地))、外間現正(喜瀬武原)、花城清一(太田)、長嶺安心(南恩納)、山城義忠(前兼久)、呉屋良善(山田)、桑江良行(安富祖)、大城保助(恩納)、津嘉山朝信(南恩納)、大城勝二(仲泊)、金城永精(真栄田)
昭和23年2月8日 (1948年)			議会議員が就任(初代議会議長:長嶺安心氏、初代副議長:當山豊八氏)
昭和23年3月1日 (1948年)			第10代村長として伊波得成氏が就任
昭和23年11月11日 (1948年)			第6代助役として田場盛六氏が就任
昭和24年4月 (1949年)			村で初めて、酒造所(代表者:玉那覇仁慶)が字恩納に開設され、醸造が始まる。
昭和24年4月1日 (1949年)			宇加地、塩屋部落が、字真栄田区より行政区として分離する。初代塩屋区長に大城三郎氏、宇加地区長に国吉真福氏がそれぞれ就任
昭和24年5月 (1949年)			戦後初めて政府補助事業として、南恩納地内内之浦原に水門及び護岸工事が施工された。 この事業は補助事業とはいいながらも、村予算を通すわけではないし、全ての業務は、あくまでも工務部金武事務所の所掌だったと記されている。 この工事の竣工後、引き続き南恩納地内下勢高(俗称ヤードヌビチ)北瀬高(俗称グータ)の海岸護岸工事が施工される。

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
昭和24年5月 (1949年)			<p>役場職員を14人から17人に増員し、行政の改善を図る。</p> <p>村 長 伊波得成 助 役 田場盛六 収入役 当真嗣福 課 長 佐渡山安秀 課 長 仲松弥篤 課 長 仲嶺康明 課 長 当山松雄 書記長 屋宜盛記 書記長 佐久本嗣松 書記長 上間繁市 書記長 亀浜朝吉 書記長 喜久山盛次 書記長 伊芸トミ 技 手 佐渡山安晴 技 手 山城繁昌 技 手 比屋根一雄 技 手 佐渡山安棟 政府駐在員 仲村兼好 行政機構:「庶務課」・「厚生課」・「商務課」・「産業課」 給仕 名嘉真文子、当山ヨネ 注＝各字区長・書記、売店主任、書記の給料は、昭和22年度から役場から支払われる。</p>
昭和25年4月 (1950年)			<p>恩納中学校が赤崎原高台に木造校舎を建築して、併置校から独立(校長:仲嶺盛文)</p>
昭和25年4月 (1950年)			<p>沖縄民政府建設資金による木造規格庁舎(「ツー・バイ・フォー」の赤瓦葺き、約42坪と記憶)が落成(恩納2451番地)し、トタン葺庁舎から移転(現庁舎敷地)した。</p>
昭和25年4月 (1950年)			<p>恩納岳を中心とする村有地が射撃演習地として軍用地に指定される。</p>
昭和25年9月3日 (1950年)		津嘉山 朝信	<p>第11代村長選挙、無投票で津嘉山朝信氏当選する。(有権者4,076人、無投票)</p>
昭和25年9月10日 (1950年)			<p>村議会議員選挙、定数8名無投票当選(市町村制の改正に伴い議会議員の定数8人となる。) ○大城保光(恩納)、△島袋順助(仲泊)、久場兼仁(安富祖)、当山松雄(瀬良垣)、松田建蔵(山田)、棚原栄吉(塩屋)、仲嶺康輝(名嘉真)、津嘉山朝栄(南恩納) 注＝○議長、△副議長</p>
昭和25年9月30日 (1950年)			<p>議会議員が就任(第2第議会議長:大城保行氏、第2代副議長:島袋順助氏)</p>

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村 長	こ と が ら
昭和25年10月 (1950年)	7,655人		<p>商務課職員2名の政府転出と他職員の辞職に伴い、役場職員が17名から11名に減る。</p> <p>村 長 津嘉山朝信 助 役 田場盛六 収入役 当真嗣福 課 長 佐渡山安秀 課 長 仲松弥篤 課 長 佐久本嗣松 課 長 佐渡山安棟 書 記 仲村兼好 書 記 当真嗣長 技 手 山城善行 技 手 仲村安男 給 仕 佐久本安子、真栄城徳勇</p>
昭和26年7月 (1951年)			市町村税条例公布
昭和26年9月 (1951年)			土地所有権調査が終了、所有権証明書を交付各部落に設置されていた配給売店が、配給制度の廃止によって、自由企業となり、そのほとんどが部落営協同売店に衣替する。
昭和26年10月 (1951年)			<p>役場職員が11名から13名になる。</p> <p>村長 津嘉山朝信 給料B円で4,100円</p>
昭和27年4月1日 (1952年)			第8代収入役として佐久本嗣松氏が就任
昭和27年4月 (1952年)			米国合衆国広報庁VOA沖縄中継局用地として、字恩納地内の万座原、横岳、新聞、野原一帯50万4千平方メートル(約15万2千460坪)を指定賃借して、万座毛西方に中継局を設置する。
昭和27年5月 (1952年)			<p>○戦後初めての産業共進会(第1回)を庁舎内で開催、字安富祖が優勝した。</p> <p>○教育委員の(米国制度による)住民選挙で無投票で次の人員が当選又は推せん(2名)され、教育委員会によって、教育行政が運営される。</p> <p>桑江良行(安富祖)、島袋順助(仲泊)、吉山盛太(塩屋)、推せん委員津嘉山朝信(村長)、女性委員大城シズ(恩納)</p>
昭和27年7月 (1952年)			農業協同組合法の改正により、村一円の農業協同組合を解消し、部落単位の組合、名嘉真(組合長、仲嶺康祿)、喜瀬武原(組合長、山田義源)、安富祖(組合長、宜志富紹東)、恩納(組合長、大城保行)、仲泊(組合長、島袋順助)の5組合同立。その数ヵ月後に恩納村農業信用協同組合(仲泊を除く。)が設立され、組合長に大城保光氏を選任する。
昭和27年8月 (1952年)			村議会議場が役所敷地内の東側に木造かわら葺(20坪と記憶する。)が落成する。従来までの議会は役所外の施設、又は、個人の住宅を利用していた。

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村 長	こ と が ら
昭和27年11月13日 (1952年)			戦前村長(16年)県議会議員、県農会長の要職を務められた長嶺安心氏が逝去され村葬を執行する。
昭和28年3月 (1953年)			市町村自治法、財政法が公布され、会計年度が7月1日から6月30日までに変わり、15ヶ月の予算を編成する。教育税が初めて課せられることになった。
平成28年3月29日 (1953年)			自治法の公布に伴い、議会議員の定数が現在の8名から16名の定数となり、追加8名の特別補充選挙を行ない無投票で次のとおり当選する。 伊波得成(恩納)、徳村保成(宇加地)、平安名盛光(前兼久)、当山喜太郎(谷茶)、金城永精(前栄田)、仲村兼蔵(富着)、桑江良行(安富祖)、花城清正(太田)
昭和28年4月 (1953年)			沖縄の産業として、パインアップルが有望視され、村はその栽培普及を図るとともにエイ芽(外国産)を試験場から取り寄せ、ナガタ山に苗圃を設置する。村内で個人が栽培を始めたのが昭和25年頃に宇太田の銘苺記盛氏によって、始められている。
平成28年5月16日 (1953年)			議会議員当山松雄外2名の辞職に伴い、特別補充選挙を行ない無投票で次の3名が当選する。 国吉真吉(喜瀬武原)、大城堅繁(瀬良垣)、仲嶺康祿(名嘉真)
昭和28年9月 (1953年)			8月1日に日本が軍人恩給の復活が決まり、それに伴い、村は戦没者遺族援護事務を開始する。
昭和28年11月9日 (1953年)			女流歌人恩納ナビー記念碑建立25周年記念式が建立した日の11月9日現場(万座毛)において有志多数列席の下に行ない、引続き、宇恩納の事務所で三味線の大家(野村流)池宮城喜輝先生と当役所庶務課長(当時)佐渡山安秀氏によって、ナビーの歌が披露され、にぎやかな宴であった。
昭和29年2月1日 (1954年)			戸籍整備事務が政府補助により開始され、昭和37年9月(8年余に亘る。)に終了する。その整備事務の成績が優秀な職員として、琉球政府法務局より、屋宜盛重氏と田幸正毅氏が表彰される。
昭和29年3月 (1954年)			航空隊通信基地として、恩納崎原が軍用地に約53万平方米(約16万325坪)が指定される。
昭和29年6月19日 (1954年)			琉球海外協会の設立(昭和28年5月)に伴い村からポリビア移民第一次に、吉山盛津(宇加地)、真栄城徳次(南恩納)、島袋宗倫(恩納)、宮城利成、安子(名嘉真)の5名を選出し送り出す。その後昭和39年までに103名を送る。
昭和29年7月 (1954年)			村有林の施業案が着手し、この施業案の編成作業(補助事業)は林務課係職員(山口、新垣両氏)を常駐にして、林業指導員、大城保晴氏とともに、その編成作業にあたり、昭和30年末にこの作業が終わる。
昭和29年9月3日 (1954年)		津嘉山 朝信	任期満了に伴い、第12代村長選挙が無投票で、津嘉山朝信氏(2期目)が当選する。(有権者4,295人、無投票)

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
昭和29年9月12日 (1954年)			<p>任期満了に伴い、村議会議員の一般選挙が無投票で、次のとおり当選する。(有権者4,299人)</p> <p>△平安名盛光(前兼久)、津嘉山朝栄(南恩納)、当山喜太郎(谷茶)、仲村兼蔵(富着)、仲嶺康祿(名嘉真)、国吉真吉(喜瀬武原)、桑江良行(安富祖)、大城堅繁(瀬良垣)、花城清正(太田)、伊波得成(恩納)、○大城保光(恩納)、島袋順助(仲泊)、松田兼造(山田)、金城永精(前栄田)、久田友正(塩屋)、饒波棟之助(宇加地)</p> <p>注＝○議長 △副議長</p>
昭和29年10月7日 (1954年)			<p>議会議員が就任(第3第議会議長:大城保行氏(2期目)、第3代副議長:平安名盛光氏)</p>
昭和30年2月5日 (1955年)			<p>恩納土地改良事業が政府直営で施行となりそのダムの起工式が政府経済部長コーラ氏及び政府関係者列席の下に現場の高台で行なう。(現場主任に開拓課島憲章氏)</p> <p>事業実施に伴い、恩納土地改良組合の設立が認可となり、組合長に伊波得成氏就任</p> <p>この事業は、昭和32年11月竣工。恩納公民館広場で竣工祝賀会が行なわれる。</p> <p>総工費＝14,425千ドル(約5億1千9百30万円)</p>
昭和30年3月1日 (1955年)			<p>恩納村育英会を設立し、3月1日から施行</p>
昭和30年6月 (1955年)			<p>砂糖キビ新品種NC0310(インド原産)を普及(苗に補助)作付始まり、各字に原苗圃を設置する。</p>
昭和31年3月 (1956年)			<p>教育委員の選挙が無投票で、島袋知長(名嘉真)、玉那覇仁栄(仲泊)、大城シズ(恩納)が当選する。</p>
昭和31年4月15日 (1956年)			<p>議会議員、花城清正外2名の辞職に伴い、特別選挙が無投票で次の者が当選する。</p> <p>当真嗣英(太田)、石川元嗣(谷茶)、当山幸徳(安富祖)</p>
昭和31年4月15日 (1956年)			<p>本村が生んだ有名な作曲家渡久地政信氏が来沖し、景勝地万座毛へ立ち寄る。</p>
昭和31年6月 (1956年)			<p>沖縄の全地主が軍の新土地収用令に反対、一括払い阻止運動が猛然と起り、その解決策に四原則が打ち出され軍用地問題解決四原則貫徹村民大会を安里積千代氏参加の下に万座毛において開催する。また、県民大会(7月18日那覇高校)に村民が多数参加した。</p>
昭和31年10月 (1956年)			<p>徴兵適令前の少年たちで編成された第二護郷隊が恩納岳を拠点として国家と郷土を護えるために、若い生命を失った第二護郷隊戦死者の英霊を祀る第二護郷隊之碑を隊長岩波寿氏が中心になり、生存者並びに遺族により宇安富祖地内のクガチャ原高台に建立する。</p>

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
昭和32年1月 (1957年)			村営製糖工場(50トン)が政府補助と起債で設立する。特別会計予算で運営する。工場の操業に伴い工場長に産業課長の佐渡山安棟氏、その後任には、林務係の大城保晴氏が、それぞれ就任する。この製糖工場の運営も、農連工場と北部製糖の大工場が設置されるにしたがって、3ヶ年の操業で止むなく閉鎖する。
昭和32年3月1日 (1957年)			第7代助役として当山幸徳氏が就任
昭和32年4月6日 (1957年)			喜瀬武原小学校が安富祖小学校喜瀬武原分校から部落西方の高台に独立する。 (初代校長:玉木清仁氏発令)
昭和32年4月15日 (1957年)			議会議員久田友正外3名の辞職に伴い、特別選挙を行ない、無投票で次の4名が当選する。 棚原英吉(塩屋)、屋良朝久(山田)、当山慶信(安富祖)、仲村好栄(名嘉真)
昭和32年8月8日 (1957年)			日露戦争以来太平洋戦争までの国難に殉じた英霊464柱を合祀する護国之塔が、恩納地内の嘉真良原保安林内に建立する。謹んでその冥福を祈ると共に世界永遠の平和を祈念し奉る。
昭和33年3月17日 (1958年)			立法衆議院(第6区)に津嘉山朝信氏(村長:辞職)が無所属で立候補し、激しい選挙戦で当選する。
昭和33年4月13日 (1958年)			津嘉山朝信氏の立法院議員立候補の辞職で村長選が行なわれ、伊波得成氏が当選する。(有権者5,298人、74.66%)
昭和33年4月28日 (1958年)		伊波 得成	第13代村長として伊波得成氏が就任
昭和33年9月 (1958年)			行政需要が増えるにしたがって、現在の木造瓦葺(42坪)の庁舎では、これに対応し難く、かねてから建設中だったRC(鉄筋コンクリート)二階建、延148坪の新庁舎が落成する。
昭和33年9月14日 (1958年)			議会議員の任期満了に伴い、一般選挙を行ない、無投票で次の16名が当選する。(有権者5,280人) 仲村好栄(名嘉真)、国吉真吉(喜瀬武原)、当山慶信(安富祖)、当山安吾(瀬良垣)、当真嗣栄(太田)、大城保光(恩納)、大城保行(恩納)、佐渡山安善(南恩納)、石川元嗣(谷茶)、仲村兼蔵(富着)、平安名盛光(前兼久)、島袋順助(仲泊)、屋良朝久(山田)、安富祖豊長(前栄田)、棚原栄吉(塩屋)、小渡山光(宇加地)
昭和33年10月21日 (1958年)			議会議員が就任(第4第議会議長:島袋順助氏、第4代副議長:国吉真吉氏)

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
昭和34年3月 (1959年)			村で初めて、簡易水道が山田部落に設置される。この水道施設は、高等弁務官の地域開発資金補助3,333ドルの交付を受けて施設したもので、従来の井戸水使用から河川表流水を濾過浄水した衛生的な水を給水する。この弁務官資金補助によって、昭和41年度までに12ヶ部落に水道を設置する。
昭和34年3月 (1959年)			教育委員の選挙が無投票で当選する。 島袋知長、伊芸安吉、吉山盛太、玉那覇仁栄
昭和34年7月 (1959年)			村単独土木事業を初めて施行する。産業課に技手2名に書記1名を設置し、農業基盤整備事業の名嘉真用水路外14件を施行する。
昭和35年2月11日 (1960年)			恩納岳を中心に山火事が発生3日間燃え続け約119万平方メートル(推定)が焼かれるという火災史上例のないもので、その原因は米軍の演習による。
昭和35年3月 (1960年)			土地改良事業の計画により、安富祖土地改良組合(組合長:金城利吉)を設立する。この事業は、経済局開拓課と同組合が事業主体で政府営事業と、組合営事業とに分けて施行され、5ヶ年で事業が完了する。
昭和35年9月16日 (1960年)			字恩納部落が、住民教養の殿堂公民館(館長:伊波得吉)120坪、工事費15,000ドルが、村で始めて落成する。
昭和35年10月1日 (1960年)			第5代議長として平安名盛光氏が就任
昭和35年10月9日 (1960年)	8,133人	島袋 順助	健康上の理由で、伊波特成村長の辞職に伴い、村長選挙に無投票で島袋順助氏が当選する。(有権者4,216人、無投票)
昭和35年10月10日 (1960年)			第14第村長として島袋順助氏が就任
昭和36年3月 (1961年)	8,236人		教育委員2名の選挙に無投票で次のとおり当選する。吉山生太(塩屋)、玉那覇仁栄(仲泊) 教育委員は、教育法(米国式)の定めるところにより5名で構成されていて、その任期は、各委員共4年となっているが、5名が同時の任期で選挙されることなく(最初は同時に5名の選挙)3名と2名とに区別されていて、今回の選挙がその後2名である。次の2カ年目には、3名が選挙されるという仕組みで、教育委員の選挙は2ヶ年おきに行なわれた。
昭和36年6月28日 (1961年)			熱田部落は、村内でも井戸水の水質が悪く飲料水に不相当とされていて、それに安富祖小中学校が所在するなか、児童生徒の健康衛生が最も憂慮されているところ、幸いに高等弁務官資金補助と教育委員会の補助とによって河川表流水による簡易水道がここに完成し、各戸及び学校への給水が一斉に開始する。
昭和36年12月13日 (1961年)			第5代副議長として當山慶信氏が就任

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
昭和37年4月1日 (1962年)	8,329人		恩納中学校を恩納小学校に合併し、恩納小中学校となる。(校長に福地蔡元氏発令)安富祖小中学校から喜瀬武原の中学校を喜瀬武原小学校に合併して、喜瀬武原小中学校として独立する。(校長糸数元信発令)
昭和37年9月9日 (1962年)			村議会議員の任期満了に伴い一般選挙が無投票で次のとおり当選する。(有権者4,245人、投票率87.61%) 東幸栄(山田)、外間現禄(喜瀬武原)、山城満(恩納)、宮平明緑(塩屋)、玉城盛吉(南恩納)、古波蔵清一(仲泊)、2. ○平安名盛光(前兼久)、2. △大城保行(恩納)、古波蔵清仁(仲泊)、石川盛一(谷茶)、1. ○仲嶺康輝(名嘉真)、大城保光(恩納)、1. △当山慶信(安富祖)、当山松雄(瀬良垣)、長浜長貞(前栄田)、小渡錫塔(宇加地) 注=1. ○ その任期中1番目の議長 2. ○ " 2番目の議長 1. △ " 1番目の副議長 2. △ " 2番目の副議長
昭和37年10月11日 (1962年)			議会議員が就任(第6第議会議員長: 仲嶺康輝氏、第6代副議長: 大城保行氏)
昭和38年1月 (1963年)	8,396人		70余年ぶりといわれる異常寒波と干ばつに見舞われ、気温8.1度という最低気温が観測され、寒波とアラレの降る異常現象で農作物は甚大な被害を与え、それに水不足が生じ、水稻植付(3月)も例年どおりできない異常現象であった。
昭和38年3月 (1963年)			教育委員3名の任期満了に伴い、選挙が行なわれ、無投票で次の3名が当選する。伊芸安吉(恩納)、島袋知長(名嘉真)、島袋順助(村長: 任命)
昭和38年3月14日 (1963年)			喜瀬武原小中学校が独立に伴い教室不足のところ政府補助と教育委員会負担によってRC(鉄筋コンクリート)造り、特別教室2教室が竣工する。その後、他学校同様に特別教育が行なわれることになった。
昭和38年9月 (1963年)			○村単独水道事業が、高等弁務官資金による水道事業とは、別個に初めて施行される。 恩納排水池 1基 谷茶排水池 1基 ○万座毛と前栄田岬が、琉球新報社創立70周年記念事業の新沖縄観光名所選定で、読者投票の審査委員会の決定により、新観光名所として指定される。
昭和39年1月12日 (1964年)	8,409人		名嘉真で、15,000坪の水田高度利用三毛作が総理府専門官の指導指示によって始まる。水田の高度利用とは、イネ作は、即ち米の単作で、増産というように考えられ易い。水田にイネの他にヤサイ等有利な作物を組み合わせて作付し、水田の利用を高めることによって高い生産性をあげると考えられ、温熱を活用すれば沖縄の高度水田利用は、高い生産を約束できるとして、水稻のわせをとり入れ第1期作が2月、第2期作が7月その次にヤサイその他、作物を植付する三毛作があった。 倉庫及び事務室63坪を造築

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
昭和39年9月29日 (1964年)	8,444人		村長の任期満了に伴い、村長選挙が2名の立候補によって選挙が行なわれ、その結果当山幸徳(元助役)が当選する。(有権者4,267人、投票率92.64%) 助役の後任には、産業課長の大城保晴氏が11月7日に就任した。
昭和39年10月9日 (1964年)		当山 幸徳	第15代村長として当山幸徳氏が就任
昭和39年10月 (1964年)			村は、かねてから村全域に対し電灯計画を進め、その実現方を琉球政府公益課に申請するとともに、各配電会社と折衝を繰り返し、ようやく資材費負担ということで妥協した。そこで、琉球政府の勧告により、山田から以南は、比謝川配電、仲泊から瀬良垣までは、中央配電、安富祖から以北は、名護配電という区域で設備され、昭和36年2月13日から点灯が始まり、山田温泉開設(昭和39年)を最後に喜瀬武原を除く全村が点灯される。
昭和39年11月7日 (1964年)			第8代助役として大城保晴氏が就任
昭和40年3月 (1965年)	8,449人		教育委員2名の任期満了に伴い、その選挙に無投票で次のとおり当選する。吉山盛太(塩屋)、玉那覇仁栄(仲泊)
昭和40年7月1日 (1965年)			公共事業の増大に伴い、適正なる施行を期するため、技術職員を増員するとともにその専門部課として、課設置条例の改正により「建設課」(課長:上間繁市)を設置
昭和40年9月1日 (1965年)			村診療所の中には、医師家族の住居も併用で診療業務を行なうに、狭隘で、種々支障をきたしていたところ、同建物東側に鉄筋コンクリート造り二階建ての住宅が建設された。延面積85.1㎡、工事費4,850ドル
昭和40年9月16日 (1965年)			第7第議会議長として平安名盛光氏が就任
昭和40年10月1日 (1965年)			村の全海岸が、優れた自然の風景地で、これを保護するとともに、これを保護するとともに、その利用の増進を図りつつ、国民の保健、休養及び教化に資することを目的として、沖縄海岸琉球政府立公園に指定される。
昭和40年12月 (1965年)			喜瀬武原地区が配電会社の都合で、他部落よりも配電工事が遅れ点灯される。これで村全域が電灯化に伴い、村民等しく合理的な文化生活に俗する。

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村 長	こ と が ら
昭和41年9月11日 (1966年)	8,467人		<p>村議会議員の任期満了に伴い、議員選挙が、定数16名に対し、17名の立候補で選挙が行なわれその結果次のとおり当選する。(有権者4,194人、投票率89.10%)</p> <p>比嘉姓一(山田)、当山松雄(瀬良垣)、古波蔵清仁(仲泊)、1. △平安名盛光(前兼久)、3. △仲嶺康祿(名嘉真)、2. △古波蔵清一(仲泊)、外間現録(喜瀬武原)、2. △長浜長貞(前栄田)、山内盛安(南恩納)、当山盛次郎(谷茶)、小渡錫光(宇加地)、1. ○大城保光(恩納)、山城繁昌(恩納)、宮平明緑(塩屋)、久場興得(安富祖)、仲村兼昭(富着)</p> <p>注=1. ○、2. ○～1番、2番目の議長 1. △、2. △、3. △～1番、2番、3番目の副議長</p>
昭和41年10月12日 (1966年)			<p>議会議員が就任(第8第議会議長:大城保行氏、第7代副議長:平安名盛光氏)</p>
昭和41年11月4日 (1966年)			<p>昭和41年10月27日午後9時30分に字南恩納の佐渡山安政氏宅地内に発生した演習地からの流弾不祥事件は、私達恩納村民にとって、誠に重大な問題である。</p> <p>昭和32年以降、今日まで、40件に及ぶ流弾事件の発生にみまわれ、村民は恐怖と不安の連続に、大きな人権問題、社会問題として村民はもとより、世論は絶対これを許さないであろう。流弾事件も単に補償すればよいということではない。</p> <p>今後いかなる理由にせよ、このような不祥事件が発生しないよう嚴重に抗議するため流弾事故抗議恩納村民大会を南恩納公民館前広場で開催する。</p> <p>抗議文の採択、要請決議a銃砲撃の目標を変更、s射撃場を移動、d防止対策の内容について、詳細に知らすこと。それに、議員代表、学校代表、区長代表、青年代表、婦人代表それぞれの意見発表で閉会</p>
昭和42年2月 (1967年)	8,478人		<p>自治功労者として収入役佐久本嗣松が全国市町村会長から表彰を受ける。第17回、日米琉合同記念植樹祭が万座毛において、三代表のあいさつに引き続き参加者及び地域住民によって、記念植樹が行われ、終了後、恩納公民館で懇談会が催される。</p>
昭和42年3月 (1967年)			<p>教育委員3名の任期満了に伴う選挙が、無投票で次のとおり当選する。</p> <p>大城栄喜(仲泊)、島袋知長(名嘉真)、伊芸安吉(恩納)</p>
昭和42年3月22日 (1967年)			<p>第8代副議長として古波蔵清一氏が就任</p>
昭和42年5月 (1967年)			<p>村で初めて外来経営による大規模観光施設の大京観光万座ビーチが、前喜原にオープンする。同年4月21日、その経営が琉球日交株式会社に移り、名称が日交オーシャンパークと替わる。</p>
昭和42年9月1日 (1967年)			<p>恩納小中学校内に学校給食センターが完成し、村内各学校に完全給食を実施</p>

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村 長	こ と が ら
昭和42年11月4日			部落単位の農業協同組合、名嘉真、喜瀬武原、安富祖、恩納の4組合(仲泊組合を除く。)と恩納村漁業信用協同組合が合併して、5種事業を行う恩納村農業協同組合(組合長理事:伊芸安吉)が設立
昭和43年4月 (1968年)	8,347人		村の長期建設計画調査を開始する。 この調査は基本計画となる三本柱で、産業の振興、観光開発、教育振興を設定するために必要な資料調査でこの策定委託者水間平氏を中心に村内各地域を調査する。
昭和43年6月 (1968年)			村の園圃経営地として、安富祖、宜志富原の原野(豊里有照所有)、23,000坪(23,000ドル)を取得する。従来、村の苗畑経営は、恩納下内勢高原の個人有地を賃借しての小規模経営であったが、この取得によって、4年目に現在の規模に達する。
昭和43年9月26日 (1968年)			○村長の任期満了に伴う村長選挙が、3名の立候補者によって選挙戦が展開され、その結果當山幸徳(現村長)が当選する。(有権者4,321人、投票率93.31%)
昭和43年9月30日 (1968年)			第9第議会議長として古波蔵清一氏、第9代副議長として仲嶺康祿氏が就任
昭和43年10月9日 (1968年)		当山 幸徳	○第16第村長として当山幸徳氏(2期目)が再任
昭和43年10月 (1968年)			戦後(昭和23年)作成の村地籍図が極めて不備で、これの是正を図る必要から、日本政府援助による地籍測量が、琉球政府土地調査庁で開始され、昭和45年4月に完了し、同年7月1日にその成果が公表される。
昭和43年11月10日 (1968年)	8,383人		戦後23年目に、ようやく住民の待望である主席公選が、第8回立法院議員総選挙と同時に実施され、開票の結果、村での各立候補者の得票数は次のとおり。 △. 行政主席選挙 屋良朝苗(無所属) 2,335票 西銘順治 1,435票 野底武彦(無所属) 2票 △. 立法院議員 新島巖 (社大党) 2,121票 伊芸徳一(自民党) 1,501票
昭和44年1月 (1969年)			自治功労者として厚生課長仲松弥篤が全国市町村会長から表彰
昭和44年3月 (1969年)			教育委員3名の任期満了に伴う選挙が、無投票で次のとおり当選する。吉山盛太(塩屋)、玉城盛吉(南恩納)、玉那覇仁栄(仲泊)
昭和44年6月30日 (1969年)			村政の執行に必要な条例、規則、規程等を種類別に分類して、集録した村例規集を編さんする。その後、新しく制定又は改廃したものは、随時追録を発行し、内容を補正することとする。
昭和44年7月23日 (1969年)	8,234人		山田小中学校が、石川地区ソフトボール大会に続き、全琉ソフトボール大会で優勝する。

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
昭和44年10月1日 (1969年)			宇宙開発事業団(本社:東京都港区浜松町)、沖縄電波追跡所(所長:識名朝典)が字安富祖高武名原で業務を開始する。
昭和44年10月3日 (1969年)			仲泊農業が琉球政府協同組合の勧告に基づいて、恩納村農業協同組合に吸収合併され、これで完全なる村一円の農協となる。 公立幼稚園を4校区(安富祖、恩納、仲泊、山田)に設置する。
昭和45年4月1日 (1970年)	8,142人		農業構造改善事業、パイロット地区として、琉球政府から指定された喜瀬武原農業構造改善事業が、村営土地改良事業として、日本政府援助(補助金)で、土地基盤整備事業と経営近代化施設事業とに区分し、その事業を開始する。この事業費が382,244ドル(内補助金321,993ドル)で、3年目の昭和47年に換地事務所を残すのみとして、事業が完成する。
昭和45年9月13日 (1970年)			議会議員の任期満了に伴う選挙が定数16名に対し、19名の立候補で選挙が行われ、その結果、次の16名が当選する。(有権者4,397人、投票率88.47%) 宮平明緑(塩屋)、古波蔵清一(仲泊)、外間現録(喜瀬武原)、仲嶺康祿(名嘉真)、長浜長喜(真栄田)、当山慶信(安富祖)、当山勝仁(瀬良垣)、平安名盛光(前兼久)、山城繁昌(恩納)、大城英喜(仲泊)、山内盛安(南恩納)、金城利安(安富祖)、比嘉姓一(山田)、当山正次(谷茶)、上間正男(恩納)、花城清治(太田)
昭和45年9月17日 (1970年)			恩納漁港組合(組合員313人)前兼久に設立(組合長:金城勝喜)する。
昭和45年10月1日 (1970年)			児童福祉施設の恩納保育所が開所する。
昭和45年10月14日 (1970年)			議会議員が就任(第10第議会議長:古波蔵清一氏(2期目)、第10代副議長:当山正次郎氏)
昭和45年11月3日 (1970年)			大京カントリークラブ(理事長:横山修二)が字安富祖赤瀬原にオープンする。
昭和46年1月29日 (1971年)	7,938人		自治功労者として当山幸徳(村長)が全国市町村会長から表彰される。
昭和46年3月 (1971年)			教育委員3名の任期満了に伴う選挙が無投票で次のとおり当選する。島袋知長(名嘉真)、長浜正秀(谷茶)、玉那覇仁栄(仲泊)
昭和46年10月10日 (1971年)			村庁舎の増改築が竣工し、同日30日に落成式を挙行する。 △総工費=184,800ドル △現庁舎完成面積=総延面積659坪
昭和46年12月 (1971年)			沖縄が、昭和47年に本土復帰と宣言され、その復帰記念事業(本土全市町村の特別交付金による。)の村診療所及び村苗畑管理室の2カ所が竣工する。

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
昭和47年4月1日 (1972年)	7,932人		課設置条例の改正により庶務課を「総務課」及び「企画課」に分課し、「厚生課」を「民生課」に、「財政課」を「税務課」に、「産業課」を「経済課」に変更
昭和47年4月29日 (1972年)			天皇誕生日(4月29日)に贈られる輝かしい春の叙勲(生存者叙勲)に村で初めて大城保光氏(字恩納)が自治功労者として、自治大臣からその伝達が行われた。
昭和47年5月7日 (1972年)			安富祖小中学校創立65周年記念式典を挙(校長:仲村好正、期成会長:泉川良吉)
昭和47年5月15日 (1972年)			○百万県民悲願の祖国復帰後「恩納村役所」を「恩納村役場」に改める。 ○初代教育長に玉城盛吉氏が就任
昭和47年6月25日 (1972年)			復帰後初の県知事選挙で屋良朝苗氏が当選
昭和47年9月17日 (1972年)			村長選挙で大城保晴氏が無投票で当選 (有権者:男2,163人、女2,483人 計4,397人、無投票)
昭和47年10月1日 (1972年)			農業委員会が発足し、農業委員会委員選挙で10人が無投票選挙
昭和47年10月9日 (1972年)	7,764人	大城 保晴	第17第村長として大城保晴氏が就任
昭和47年11月1日 (1972年)			浦崎澄氏が社会福祉の増進に尽くした黄綬褒章を受章
昭和47年11月7日 (1972年)			沖縄国際ゴルフ倶楽部が富着に開設
昭和47年11月10日 (1972年)			恩納小学校体育館が落成
昭和47年12月3日 (1972年)			恩納小学校創設90周年式典を挙
昭和48年2月1日 (1973年)	7,887人		第9代助役として佐久本嗣松氏、第9代収入役として仲村兼好氏が就任し、課設置条例の改正により「企画課」を設置
昭和48年3月6日 (1973年)			谷茶前の碑除幕式を挙
昭和48年4月1日 (1973年)			教育委員に辞令交付(教育長:玉城盛吉氏)
昭和48年4月30日 (1973年)			若夏国体炬火リレー通過(13区間)
昭和48年5月15日 (1973年)			祖国復帰1周年を記念して、村章、村木(フクギ)、村花(ユウナ)を制定

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
昭和48年5月25日 (1973年)			山田小学校体育館が落成
昭和48年5月30日 (1973年)			安富祖、恩納、仲泊、山田の幼稚園舎が落成
昭和48年6月29日 (1973年)			山田小学校創立85周年記念式典を挙行
昭和48年9月1日 (1973年)			村PTA連合会を結成
昭和48年9月14日 (1973年)			喜瀬武原パイロット地区村営土地改良事業換地総会を実施
昭和49年3月27日 (1974年)			前兼久漁港起工式(地鎮祭)を挙行
昭和49年4月5日 (1974年)	8,167人		土地開発公社恩納支社を成立
昭和49年4月6日 (1974年)			○恩納村基本構想を策定 ○第2代教育長に大城英喜氏が就任
昭和49年5月10日 (1974年)			平安名盛光氏が自治功労者として叙勲、勲六等光章を授賞伝達(大城保光氏に続いて2人目)
昭和49年5月31日 (1974年)			村道嘉真良線(万座毛観光道路)竣工記念植樹祭並びに開通式を挙行
昭和49年6月1日 (1974年)			ホテル沖縄みゆきが開設
昭和49年7月12日 (1974年)			恩納村商工会設立総会(村観光協会合併)を実施
昭和49年9月15日 (1974年)			村議会議員選挙で定員16人を18人に改め、24人が立候補(有権者4,817人、投票率92.71%)
昭和49年9月15日 (1974年)			宮城マカトさん(名嘉真)百歳記念品(大臣、県知事)を贈呈
昭和49年9月28日 (1974年)			議会議員が就任(第11第議会議長:當山正次郎氏、第11代副議長:當山慶信氏)
昭和50年1月20日 (1975年)			植木沖繩開発庁長官が仲泊小中学校を視察
昭和50年2月2日 (1975年)	8,269人		仲泊小、中学校運動場埋立工事が竣工
昭和50年2月3日 (1975年)			村選挙管理委員、議会で選挙(委員会長:仲村好栄氏)

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
昭和50年3月28日 (1975年)			安富祖小中学校体育館が落成
昭和50年4月1日 (1975年)			課設置条例の改正により、民生課を「住民課」に変更
昭和50年4月4日 (1975年)			山田保育所が開所(入所式)
昭和50年4月7日 (1975年)			仲泊遺跡が国指定史跡に指定
昭和50年5月1日 (1975年)			常備消防を設置(職員10人)
昭和50年5月15日 (1975年)	8,363人		津嘉山朝信氏が自治功労者として叙勲、勲五等瑞宝章を受章
昭和50年6月18日 (1975年)			国道58号線仲泊大橋の開通式を挙行
昭和50年7月10日 (1975年)			ムーンビーチホテルの落成式が実施
昭和50年7月10日 (1975年)			沖縄国際海洋博覧会の開会式(本部町)が実施
昭和50年9月15日 (1975年)			農業委員会の委員一般選挙(無投票当選10人)
昭和50年10月1日 (1975年)	8,266人		国勢調査(人口8,266人)
昭和51年3月14日 (1976年)			仲泊小中学校創立30周年記念式典及び体育館の落成式
昭和51年3月20日 (1976年)			村ダム事務所が落成
昭和51年5月6日 (1976年)			特別養護老人ホーム「谷茶の丘」落成
昭和51年5月15日 (1976年)			緑の少年団結成(喜瀬武原小学校)
昭和51年6月30日 (1976年)			恩納村育英会が解散し、村が引き継ぐ
昭和51年9月1日 (1976年)			東西清掃施設組合設置(石川市、恩納村一部事務組合)
昭和51年9月20日 (1976年)	8,554人		村長選挙で大城保晴氏が無投票当選(有権者5,298人、無投票)

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
昭和51年10月6日 (1976年)			第1回村政功労者表彰式挙行(8人)
昭和51年10月9日 (1976年)		大城 保晴	第18代村長として大城保晴氏(2期目)が再任
昭和52年4月1日 (1977年)	8,452人		○第3代教育長として大城英喜氏(2期目)が再任 ○課設置条例の改正により、「水道課」を設置 ○安富祖保育所が開所
昭和52年4月19日 (1977年)			徳島県海部郡日和佐町と姉妹都市盟約調印(於日和佐町)
昭和52年4月29日 (1977年)			第1回おんなまつり開催(～5月5日まで(7日間))
昭和52年6月30日 (1977年)			V. O. A施設返還
昭和52年7月23日 (1977年)			上下水道給水開始(前兼久地区)
昭和52年8月26日 (1977年)			恩納村基本計画策定
昭和53年4月1日 (1978年)			○万座毛が観光名所として指定される。 ○課設置条例の改正により、教育委員会を「教育委員会庶務課」、「教育委員会学校教育課」、「教育委員会社会教育課」及び「教育委員会保健体育課」に分課
昭和53年4月29日 (1978年)			第2回おんなまつり開催(～5月5日まで(7日間))
昭和53年5月25日 (1978年)			○金武町、恩納村、宜野座村消防事務組合設立(昭和54年7月23日に金地区消防組合へ名称変更)
昭和53年7月30日 (1978年)			交通方法変更「車は左、人は右」
昭和53年9月3日 (1978年)			議会議員選挙に26人が立候補(有権者5,330人、投票率92.61%)
昭和53年9月28日 (1978年)			議会議員が就任(第12第議会議長:大城勝保氏、第12代副議長:伊波得吉氏)
昭和53年11月10日 (1978年)			○恩納ナビ一歌碑県立50周年式典 ○第2回村政功労者表彰式 被表彰者:仲松彌篤氏、当山松雄氏、仲嶺康祿氏、小渡錫光氏、古波藏清一氏、当真嗣福氏
昭和53年11月30日 (1978年)			当袋川ダム(恩納)定礎式
昭和54年1月24日 (1979年)			東西清掃組合落成式

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
昭和54年5月16日 (1979年)			第30回沖縄植樹祭(熱田岳のふもと)
昭和54年6月1日 (1979年)			クガチャダム(安富祖)起工式
昭和54年7月16日 (1979年)			恩納村交通安全推進協議会設立総会(会長:村長大城保晴氏)
昭和55年5月15日 (1980年)			恩納歯科医院開院
昭和55年5月17日 (1980年)			収入役の仲村兼好氏が交通事故により死去
昭和55年5月25日 (1980年)			「愛馬進撃歌碑」除幕式(名嘉真)、仲田豊順氏夫妻が建立
昭和55年6月1日 (1980年)			第10代収入役として當眞嗣長氏が就任
昭和55年8月21日 (1980年)			恩納村誌発刊祝賀会(昭和57年3月10日沖縄タイムス出版文化賞受賞)
昭和55年8月29日 (1980年)			当袋川ダム竣工式
昭和55年9月21日 (1980年)			○村長選挙に大城保晴氏が当選(有権者5,324人、投票率86.44%)(大城保晴氏当選2,595票 当山征男氏1,935票)
昭和55年10月9日 (1980年)		大城 保晴	○第19代村長として大城保晴氏(3期目)が再任
昭和55年10月30日 (1980年)			米軍演習場(キャンプハンセン地区)南恩納、瀬良垣地区の山林大火災が発生し、3日間続いた。(被害面積52.56ha) これまでに発生した主な火災:昭和35年2月11日~3日間(119万G)恩納岳、昭和43年10月24日~4日間(不明、安、喜、名)、47年10月5日~4日間42.85ha恩納岳
昭和55年11月3日 (1980年)			古波藏清一氏叙勲(勲六等旭日章)
昭和55年11月6日 (1980年)			第3回村政功労者表彰式 被表彰者:仲村兼好氏、仲松弥秀氏(農業まつり)
昭和55年11月22日 (1980年)			村婦人会設立30周年記念式典
昭和56年1月29日 (1981年)			心豊かなふるさとづくり推進協議会結成総会
昭和56年1月31日 (1981年)			助役の佐久本嗣松氏が任期満了

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
昭和56年4月1日 (1981年)			○第10代助役として比嘉茂政氏が就任 ○第4第教育長として大城英喜氏(3期目)が再任
昭和56年5月31日 (1981年)			山田児童体育館落成式
昭和56年6月11日 (1981年)			村子供会育成連絡協議会設立総会
昭和56年9月13日 (1981年)			農業委員任期満了に伴う選挙があり、無投票
昭和56年11月3日 (1981年)			仲嶺康祿氏叙勲(勲六等旭日章)
昭和56年11月19日 (1981年)			恩納村身体障害者協会設立総会
昭和56年12月11日 (1981年)			クガチャダム竣工式
昭和57年3月10日 (1982年)			環境緑化木集出荷施設完成
昭和57年3月24日 (1982年)			○恩納小学校創立百周年記念式典 ○防災、行政無線施設完成
昭和57年3月20日 (1982年)			前兼久漁港竣工
昭和57年4月1日 (1982年)			課設置条例の改正により、教育委員会庶務課及び教育委員会学校教育課を統合し、「教育委員会学校教育課」に、教育委員会社会教育課及び教育委員会保健体育課を統合し、「教育委員会社会教育課」を設置
昭和57年5月30日 (1982年)			真栄田児童体育館落成式
昭和57年8月27日 (1982年)			恩納村第二次基本構想策定
昭和57年9月19日 (1982年)			村議会議員選挙に22人立候補(有権者5,531人、投票率94.12%)
昭和57年9月28日 (1982年)			議会議員が就任(第13第議会議長:大城勝保氏(2期目)、第13代副議長:宇江城安忠氏)
昭和57年10月2日 (1982年)	8,374人		多幸山観光園10周年記念及び琉球村開園式
昭和57年11月3日 (1982年)			津嘉山朝信氏が沖縄県功労賞(社会福祉功労)受賞

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
昭和57年11月5日～7日 (1982年)			第1回恩納展開催
昭和57年11月21日 (1982年)			第4回村功労者表彰式 被表彰者: 當山正次氏、宮平明緑氏、仲村好栄氏、 山城茂昌氏、山城満氏(農業まつり)
昭和57年11月26日 (1982年)			恩納村音頭発表会 作詞 山内盛春 作曲 譜久原恒勇 唄 伊並智恵子・ポップトーンズ 振付 仲本興真
昭和58年2月24日 (1983年)	8,340人		喜瀬武原に寒緋櫻1,200本記念植樹(沖縄県から贈呈)
昭和58年2月28日 (1983年)			恩納村献血推進協議会結成
昭和58年2月13日 (1983年)			巖谷小波歌碑除幕式(万座毛)
昭和58年4月29日 (1983年)			当山正次郎氏叙勲(勲六等單光旭日章)
昭和58年6月1日 (1983年)			万座ビーチホテル落成式
昭和58年8月2日 (1983年)			恩納村海岸サンゴを守る会創立
昭和58年10月4日 (1983年)			恩納ダム定礎式
昭和58年11月22日 (1983年)			第42回国民体育大会恩納村準備委員会設立
昭和58年12月11日 (1983年)			屋宜盛徳氏叙勲、勲五等双光旭日章
昭和58年12月14日 (1983年)			県民の盛り起工式(熱田岳)
昭和58年12月15日 (1983年)			第1回恩納村社会教育振興大会開催
昭和59年3月30日 (1984年)	8,487人		○農村婦人の家落成式(恩納漁港地内) ○恩納村国土利用計画策定
昭和59年4月21日 (1984年)			第3回海びらきおんなまつり開催(～22日まで(2日間))
昭和59年5月18日 (1984年)			金武地区消防衛生組合庁舎落成式

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
昭和59年5月20日 (1984年)			恩納小学校100周年記念タイムカプセル埋蔵式
昭和59年5月24日 (1984年)			恩納村漁業協同組合事務所落成式及び譲渡式(全日空リゾートKKより贈呈)
昭和59年8月23日 (1984年)			前兼久漁港みなとびらき式典挙行
昭和59年9月9日 (1984年)			恩納村長選挙で比嘉茂政氏が当選(有権者5,749人:投票率91.91%)
昭和59年9月16日 (1984年)			恩納村農業委員会委員選挙に12人立候補(有権者1,592人:投票率97.47%)
昭和59年9月21日 (1984年)			第14第議会議長:宇江城安忠氏、第14代副議長:比嘉豊林氏が就任
昭和59年10月9日 (1984年)	8,556人	比嘉 茂政	第20代村長として比嘉茂政氏が就任
昭和59年10月10日 (1984年)			教育長に当山一夫氏が就任
昭和59年10月29日 (1984年)			第42回国民体育大会恩納村実行委員会設立
昭和59年11月3日 (1984年)			第5回村政功労者表彰式 被表彰者:大城保晴氏、佐久本嗣松氏、玉那覇仁栄氏、伊芸安吉氏、屋宜盛重氏、伊波得吉氏、山内盛安氏、当山勝仁氏、仲村好正氏、崎浜秀長氏、浦崎澄氏、屋宜盛記氏、上間繁市氏、仲嶺盛文氏、屋宜盛徳氏(農業まつり)
昭和59年11月16日 (1984年)			恩納村商工会設立10周年記念式典挙行
昭和59年12月6日 (1984年)			第11代助役として大城保繁氏が就任
昭和59年12月10日 (1984年)			第5代教育長として当山一夫氏が就任
昭和60年1月1日 (1985年)	8,560人		恩納村国体事務局設置
昭和60年4月1日 (1985年)			第6代教育長として当山一夫氏(2期目)が再任
昭和60年7月30日 (1985年)			恩納村立赤間運動場落成式
昭和61年4月1日 (1986年)			課設置条例の改正により、「国体室」を設置

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
昭和61年4月25日 (1986年)	8,602人		県民の森開園式
昭和61年5月16日 (1986年)			恩納ダム落成式
昭和61年5月30日 (1986年)			恩納村立コミュニティセンター落成式
昭和61年7月26日 (1986年)			第7回全日本クラブ男子ソフトボール大会 参加24チーム、優勝:闘犬センター、準優勝:山梨ク ラブ、3位:ブルーシャーク(沖縄県)
昭和61年9月7日 (1986年)			村議会議員選挙に23人立候補(有権者5,865人、投 票率93.74%)
昭和61年9月20日 (1986年)			恩納村商工会青年部5周年記念式典
昭和61年9月28日 (1986年)			議会議員が就任(第15第議会議長:宇江城安忠氏 (2期目)、第15代副議長:比嘉豊林氏(2期目))
昭和61年11月28日 (1986年)			第1回「恩納村の開発と保全」シンポジウム開催(コ ミュニティセンター)
昭和61年12月27日 (1986年)			村内交通事故多発非常事態宣言村民総決起大 会開催(役場ホール)
昭和62年3月24日 (1987年)			第2次基本構想の実現化のための後期基本計画策 定
昭和62年3月31日 (1987年)			恩納村地域防災計画策定
昭和62年4月6日 (1987年)			恩納村通信所ミサイル配備反対村民総決起大会(恩 納小中学校)
昭和62年4月21日 (1987年)			外務大臣へミサイル配備反対要請(比嘉村長、津波 古軍用地地主会、屋宜南恩納区長)
昭和62年4月25日 (1987年)			第4回海びらき恩納村まつり開催(~26日まで(2日 間))
昭和62年5月11日 (1987年)			かりゆしビーチ落成記念式典
昭和62年6月1日 (1987年)			収入役に当真嗣長氏が再任
昭和62年6月27日 (1987年)			安富祖公民館落成式
昭和62年9月13日 (1987年)			農業委員会委員選挙(無投票)

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
昭和62年9月20日 (1987年)			徳仁親王殿下を旧山田温泉前にて一般奉迎
昭和62年10月25日 (1987年)			第42回国民体育大会「海邦国体」秋季大会総合開 会式(沖縄市)
昭和62年10月26日 (1987年)			○ソフトボール(成年男子)競技開始式(赤間運動場) ○常陸宮同妃両殿下が万座ビーチホテルに御着、御 昼食会へ比嘉村長、宇江城議長が出席
昭和62年10月28日 (1987年)			○三笠宮寛仁親王同妃両殿下ソフトボール競技御覧 (お出迎え:大城助役、比嘉副議長) ○三笠宮寛仁親王同妃両殿下と御昼食会に比嘉村 長、宇江城議長が出席食会(万座ビーチホテル)
昭和62年10月29日 (1987年)			○ソフトボール競技種別表彰式(成年男子) 優勝:沖縄県、準優勝:愛知県、3位石川県 ○高円宮同妃殿下サンマリーナホテル御着し、お出迎 え及び御夕食会へ比嘉村長、宇江城議長が出席
昭和62年10月30日 (1987年)			「海邦国体」秋季大会総合閉会式(沖縄市)
昭和62年11月13日 (1987年)			○皇太子殿下、皇太子妃殿下御来村(御泊所:万座 ビーチホテル) ○お出迎えに比嘉村長、宇江城議長、特別奉迎者10 名
昭和62年11月14日 (1987年)			皇太子殿下、皇太子妃殿下「沖縄の歌と踊り」を御覧 (万座ビーチホテル内オーキッドルーム)
昭和63年3月9日 (1988年)			国民体育大会実行委員会解散総会
昭和63年3月10日 (1988年)			熱田地区上水道施設整備工事竣工
昭和63年4月1日 (1988年)			○村政施行80周年記念式典挙行 村政功労者表彰 55名、5団体 ○恩納村民憲章制定
昭和63年(日程不明) (1988年)			第5回海びらき恩納村まつり開催
昭和63年6月6日 (1988年)			収入役に当真嗣長氏が再任
昭和63年7月21日 (1988年)			渡久地政信氏へ名誉村民章贈呈(第1号)村制80周 年記念講演(潮騒に燃えて) 講師:渡久地政信氏
昭和63年8月4日 (1988年)			沖縄海区漁業調整委員会選挙に無投票当選 村長:比嘉茂政、議員:池原嘩一(有権者6,098人)
昭和63年9月11日 (1988年)			○村長選挙で比嘉茂政氏が無投票当選(有権者6,027 人、無投票) ○議会議員補欠選挙(有権者:6,027人、無投票)
昭和63年9月14日 (1988年)			沖縄県人伯国移住80周年記念式典へ出席

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
昭和63年10月7日 (1988年)			国体記念碑建立除幕式(70名)
昭和63年10月9日 (1988年)		比嘉 茂政	第21代村長として比嘉茂政氏(2期目)が再任
昭和63年12月3日 (1988年)			村立山田小中学校100周年記念式典
昭和63年12月27日 (1988年)			特殊部隊訓練施設建設及び実弾演習反対村民総決起大会
平成1年1月9日 (1989年)	8,660人		第12第助役として大城保繁氏(2期目)が再任
平成1年2月3日 (1989年)			外務省防衛施設局長へ特殊部隊訓練施設建設及び実弾演習反対要請
平成1年2月15日 (1989年)			日本花卉生産者沖縄大会参加者が恩納村亀の浜精算団地を視察
平成1年3月10日 (1989年)			仲泊地区上水道施設整備工事竣工
平成1年4月1日 (1989年)			行政改革により、課設置条例を改正により、住民課を分課し、「住民課」及び「保健衛生課」に、「経済課」を「経済観光課」に変更
平成1年4月11日 (1989年)			県議会軍特委員会都市型ゲリラ直種訓練場視察調査
平成1年7月1日 (1989年)			第7代教育長に大城英喜氏が就任
平成1年7月16日 (1989年)			監査委員に崎浜秀長氏が再任
平成1年7月24日 (1989年)			都市型ゲリラ特殊訓練施設工事を再開したため座り込み闘争(4日間)
平成1年8月5日 (1989年)			第6回うんな・まつり開催(~6日まで(2日間))
平成1年12月19日 (1989年)			恩納村一般廃棄物最終処分場起工式
平成2年2月18日 (1990年)	8,941人		恩納ナビーを慕う歌会(恩納村商工会青年部主催)
平成2年3月10日 (1990年)			山田地区上水道施設整備工事竣工
平成2年3月30日 (1990年)			山田区にこども交通安全広場設置

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
平成2年4月1日 (1990年)			教育委員会に「社会教育課」を設置
平成2年4月10日 (1990年)			○喜瀬武原幼稚園開園式 ○恩納村庁舎建設基本計画策定委員会設置
平成2年2月23日 (1990年)			世界のウチナーンチュ大会(23～26日まで)
平成2年2月28日 (1990年)			世界のウチナーンチュ大会参加者(村出身)歓迎会 (コミュニティセンター)
平成2年7月21日 (1990年)			第7回うんな・まつり開催(～22日まで(2日間))
平成2年9月9日 (1990年)			議会議員選挙に21名立候補(有権者:6,399人、投票率:91.50%)
平成2年9月23日 (1990年)			農業委員会委員選挙(無投票)
平成2年9月28日 (1990年)			○議会議員が就任(第16第議会議長:宮平安徳氏、 第16代副議長:當山安信氏) ○村監査委員に池原嘩一氏が就任
平成2年9月30日 (1990年)			公営住宅仲泊団地落成(6戸)
平成2年10月10日 (1990年)			南米移住地視察訪問団が出發(比嘉茂政村長外3名:20日間)
平成2年11月22日 (1990年)			恩納村婦人会創立40周年記念式典(コミュニティセンター)
平成3年2月1日 (1991年)	8,948人		恩納村環境保全条例制定
平成3年3月10日 (1991年)			塩屋、喜瀬武原上水道施設整備工事竣工
平成3年3月30日 (1991年)			恩納通信所返還予定地跡地利用計画構想策定
平成3年3月31日 (1991年)			恩納村一般廃棄物最終処分場竣工
平成3年7月3日 (1991年)			暴力団侵入阻止恩納村民総決起大会(コミュニティセンター)
平成3年7月20日 (1991年)			第8回うんな・まつり開催(～21日まで(2日間))
平成3年8月19日 (1991年)			第20回恩納村少年野球大会県外派遣(長崎県に山田チーム)

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
平成4年1月27日 (1992年)	8,906人		都市型戦闘訓練施設撤去を東京要請(村長外8名)
平成4年2月29日 (1992年)			公営住宅喜瀬武原団地落成(12戸)
平成4年3月10日 (1992年)			名嘉真、富着、前兼久、真栄田上水道施設整備工事竣工
平成4年3月30日 (1992年)			第3次総合計画・基本構想を策定
平成4年3月30日 (1992年)			恩納村庁舎建設委員会設置(仲嶺真二外17名)
平成4年3月31日 (1992年)			赤瀬地区の土地改良総合整備事業竣工
平成4年5月15日 (1992年)			米軍政府は、キャンプハンセン場内の都市型戦闘訓練施設の撤去を正式に発表
平成4年6月1日 (1992年)			第11代収入役に山城正直氏が就任
平成4年7月16日 (1992年)			キャンプハンセン場内の都市型戦闘訓練施設の撤去作業終了
平成4年8月6日 (1992年)			海区漁業調整委員会委員選挙に11名立候補(有権者数88名、投票率65.91%)
平成4年8月8日 (1992年)			第9回うなまつり開催(~9日まで(2日間))
平成4年8月15日 (1992年)			復帰20周年記念事業 恩納村アドベンチャー「自然体験活動」でヨ一島に22日(7泊8日)までキャンプ(参加者50人)
平成4年9月13日 (1992年)			村長選挙で比嘉茂政氏が無投票当選(有権者6,487人、無投票)
平成4年10月9日 (1992年)		比嘉 茂政	第22代村長として比嘉茂政氏(3期目)が再任
平成4年12月5日 (1992年)			恩納村漁業協同組合20周年記念式典(コミュニティセンター)
平成4年12月22日 (1992年)			都田地区農業用灌漑ダム竣工
平成5年1月9日 (1993年)	8,863人		第13代助役として大城保繁氏(3期目)が再任
平成5年2月6日 (1993年)			恩納村庁舎建設推進フォーラム開催(コミュニティセンター)

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
平成5年2月17日 (1993年)			健康福祉シンポジウム開催(コミュニティセンター)
平成5年2月25日 (1993年)			公営住宅谷茶団地落成(12戸)
平成5年2月26日 (1993年)			恩納村文化協会設立総会(コミュニティセンター)
平成5年5月13日 (1993年)			特別養護老人ホーム「谷茶の丘」にディナーサービスセンターが完成し、多くの村民が老人福祉の拠点完成を祝う。
平成5年6月2日 (1993年)			大城英喜教育長が全国町村教育会から教育功労者として表彰
平成5年7月1日 (1993年)			第8代教育長として大城英喜氏(2期目)が再任
平成5年7月24日 (1993年)			第10回うんなまつり開催(~25日まで(2日間))
平成5年10月13日 (1993年)			村内で交通死亡事故が多発(死亡8名・統計外1名)し、交通事故抑制緊急住民大会開催(コミュニティセンター)
平成6年2月21日 (1993年)	9,021人		南北文化物産交流で北海道えりも町の大凧(12畳)が恩納村の空に舞い上がる。
平成6年6月5日 (1994年)			山城カマダさん(仲泊19番地)と恩納村婦人会(会長:名城幸代)が観光保全、美化運動に功績があったと環境庁から表彰
平成6年7月23日 (1994年)			第11回うんなまつり開催(~24日まで(2日間))
平成6年9月11日 (1994年)			議会議員選挙に21名立候補(有権者:6,668人、投票率89.32%)
平成6年9月28日 (1994年)			議会議員が就任(第17代議長:宮平安徳氏(2期目)、第17代副議長:東常雄氏)
平成6年11月2日 (1994年)			大城勝保氏が26年の保護司としての功績が認められ藍綬褒章(厚生保護功績)を受賞
平成7年2月12日 (1995年)	9,062人		「渡久地メロディーを歌う」チャリティーコンサート開催
平成7年3月26日 (1995年)			恩納村PTA連合会20周年記念式典
平成7年4月1日 (1995年)			屋良朝信氏が教育委員に任命
平成7年6月9日 (1995年)			歴史国道の認定(国頭方西海道:仲泊地区)

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
平成7年7月29日 (1995年)			第12回うんなまつり開催(～30日まで(2日間))
平成7年8月4日 (1995年)			恩納村文化財民族資料展(戦後50周年記念)
平成7年4月1日 (1995年)			恩納保育所新增築改築工事竣工
平成7年11月20日 (1995年)			民生委員宮平明祿氏が厚生大臣賞を受賞
平成7年11月30日 (1995年)			恩納通信所軍用地返還
平成8年2月10日 (1996年)	9,131人		全国子ども会中央大会
平成8年3月25日 (1996年)			安富祖地区上水道施設整備事業が完了し、これにより村全域に上水道布設を完了
平成8年3月28日 (1996年)			恩納漁港海岸環境整備事業完了(沖縄県で最初の漁港海岸環境整備事業で平成3～7年までの5ヵ年計画の事業を完了する。)
平成8年4月1日 (1996年)			デイサービス事業運営開始 特別養護老人ホーム谷茶の丘に置く 恩納村在宅介護センター開設 特別養護老人ホーム谷茶の丘に置く
平成8年4月11日 (1996年)			○第14第助役として大城英喜氏が就任 ○第9代教育長として仲嶺哲夫氏が就任
平成8年4月27日 (1996年)			恩納漁港海浜公園ビーチ開き
平成8年5月1日 (1996年)			大田区創立50周年記念式典
平成8年6月1日 (1996年)			第12第収入役として山城正直氏(2期目)が再任
平成8年6月28日 (1996年)			6月定例議会最終日に第18代議長選挙で比嘉豊林氏が就任
平成8年6月29日 (1996年)			第1回恩納村植樹祭を万座毛において開催(松1,000本を植樹)
平成8年7月1日 (1996年)			金城康長氏を教育委員に任命
平成8年7月28日 (1996年)			第13回うんなまつり開催(～29日まで(2日間))

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
平成8年9月8日 (1996年)			○村長選挙で比嘉茂政氏が4期目当選(有権者6,782人、投票率85.64%) ○議会議員補欠選挙で志喜屋文康氏、金城廣憲氏が当選(有権者:6,782人、投票率:85.61%)
平成8年9月22日 (1996年)			村農業委員会委員選挙(無投票)
平成8年10月9日 (1996年)		比嘉 茂政	第23代村長として比嘉茂政氏(4期目)が再任
平成9年1月26日 (1997年)	9,250人		恩納ライオンズクラブ設立総会
平成9年3月2日 (1997年)			仲泊小中学校創立50周年記念式典
平成9年3月31日 (1997年)			東西清掃組合解散(石川市、恩納村一部事務組合)
平成9年4月1日 (1997年)			○第10代教育長として仲嶺哲夫氏(2期目)が再任 ○中部北環境施設組合設置(具志川市、勝連町、与那原町、石川市、恩納村一分事務組合)
平成9年4月9日 (1997年)			中部北環境施設組合議会議員選挙で喜納正誠氏、志喜屋文康氏が当選
平成9年5月1日 (1997年)			池原絹子氏を教育委員に任命
平成9年7月16日 (1997年)			田幸正毅氏を監査委員に任命
平成9年7月17日 (1997年)			第9回全国農業青年交換大会現地交流会
平成9年7月26日 (1997年)			第14回うんなまつり開催(~27日まで(2日間))
平成9年8月20日 (1997年)			安富祖中学校男子第19回全国中学校ソフトボール大会優勝
平成9年11月16日 (1997年)			第10回全国スポーツレクリエーション「スポレクおきなわ'97」ビーチバレー大会開催
平成9年11月20日 (1997年)			地方自治施行50周年記念自治大臣賞に恩納村受賞
平成10年4月1日 (1998年)			課設置条例の改正により、保健衛生課を「保健福祉課」に、新設として「庁舎建設室」を設置
平成10年4月3日 (1998年)	9,373人		村制施行90周年記念式典及び祝賀会(村制功労者表彰48名)
平成10年5月30日 (1998年)			宇加地近隣公園落成式及び記念式典

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
平成10年7月21日 (1998年)			芸術の森彫刻シンポジウム(県民の森)8月31日まで
平成10年7月25日 (1998年)			第15回うんなまつり開催(～26日まで(2日間))
平成10年8月9日 (1998年)			ブラジル・アルゼンチン移住90周年記念式典(仲嶺哲夫教育長、比嘉林議長が出席)
平成10年9月13日 (1998年)			○村議会議員選挙に20人立候補(有権者:7,052人、投票率:86.66%) ○名誉村民(第1号)の渡久地政信氏が御逝去
平成10年9月28日 (1998年)			議会議員に18人が就任(第19代議長:志喜屋文康氏、第18代副議長:喜納正誠氏)
平成10年10月14日 (1998年)			仲泊内海埋立工事起工式
平成10年10月22日 (1998年)			恩納村新庁舎建設工事起工式(地下2階、地上3階)延べ床面積9,241.66㎡(駐車場3,089.49㎡)工事費2,150,000千円
平成10年10月31日 (1998年)			岡山県加茂川町と友好交流縁組締結で比嘉村長を含めた20名が加茂川町での締結式に参加
平成10年11月7日 (1998年)			県育樹祭を喜瀬武原小中学校にて開催
平成10年11月27日 (1998年)			公営住宅安富祖団地落成(12戸)
平成10年12月14日 (1998年)			比嘉茂政氏が村長を辞職(離任式開催)し、沖縄県出納長に就任
平成11年1月24日 (1999年)	9,512人	大城 英喜	第24代村長として大城英喜氏が就任(有権者7,042名、投票率80.25%)
平成11年2月13日 (1999年)			第1回恩納村産業まつり
平成11年4月2日 (1999年)			恩納漁港荷捌施設落成式
平成11年5月12日 (1999年)			村内で交通死亡事故が1週間で2件発生し、恩納村交通死亡事故抑止緊急会議がコミュニティセンターで開催
平成11年7月1日 (1999年)			経済観光課内に「サミット対策室」を設置
平成11年7月16日 (1999年)			池原嘩一氏が議会選出監査委員に再任
平成11年7月24日 (1999年)			第16回うんなまつり開催(～25日まで(2日間))

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
平成11年8月1日 (1999年)			第15代助役として當山稔氏が就任
平成11年9月2日 (1999年)			恩納村博物館新築工事起工式(仲泊内海) 工事費638,610千円
平成12年1月9日 (2000年)	9,619人		ハワイ移住100周年記念式典(大城英喜村長、喜納 正誠副議長出席)
平成12年2月28日 (2000年)			恩納村庁舎引渡式
平成12年3月27日 (2000年)			恩納村新庁舎(地上3階、地下2階)落成式、記念式 典
平成12年4月4日 (2000年)			新庁舎事務開始式
平成12年6月1日 (2000年)			第13代収入役として山城正直氏(3期目)が再任
平成12年7月21日 (2000年)			九州・沖縄サミット開催(名護市:万国津梁館)(~23 日まで(3日間)) 恩納村にアメリカ・ロシア・イギリス・フランス・カナダ・
平成12年7月29日 (2000年)			第17回うんなまつり開催(~30日まで(2日間))
平成12年10月11日 (2000年)			第12回全国岬サミット(恩納村開催)(~12日まで (2日間))
平成12年11月25日 (2000年)			第1回恩納村出身海外移住者子弟等研修生受入事 業 【石川・ゴンザレスベス・ルイス・エンリケ(日系3世:ブ ラジル)(修了番号1番)】 ~平成13年2月14日まで研修
平成13年1月4日 (2001年)	9,732人		恩納村、各字行政区刻銘版除幕式及び記念植樹
平成13年1月19日 (2001年)			瀬良垣漁港が水産庁から第1種漁港指定を受ける。
平成13年2月1日 (2001年)			資源ごみ回収・分別収集開始
平成13年3月29日 (2001年)			観光連携型海ぶどう養殖施設工事完了(前兼久漁 港)
平成13年3月30日 (2001年)			観光連携型海ぶどう養殖施設工事完了(恩納漁港)
平成13年4月1日 (2001年)			○第11代教育長として伊波肇氏が就任 ○西銘宜寿氏、宮城辰吉氏を教育委員に任命 ○下水道室を新設

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことがら
平成13年5月1日 (2001年)			○恩納村博物館開館(開館式4月25日:仲泊内海内) ○島袋正重氏を教育委員に任命
平成13年6月26日 (2001年)			元議員の比嘉性一氏叙勲(勲六等瑞寶章)
平成13年7月1日 (2001年)			大城肇氏を教育委員に任命
平成13年7月6日 (2001年)			元議員の當山慶信氏叙勲(勲六等單光旭日章)
平成13年7月16日 (2001年)			糸数達郎氏を監査委員に選任
平成13年7月21日 (2001年)			第18回うんなまつり開催(～22日まで(2日間))
平成13年8月10日 (2001年)			恩納村総合保健福祉センター起工式(南恩納区)
平成13年8月13日 (2001年)			安富祖中男子ソフトボール部が第1回全日本中学校ソフトボール大会で優勝
平成13年8月29日 (2001年)			第2回恩納村出身海外移住者子弟等研修生受入事業 【津嘉山・梢(ボリビア)(修了番号2番)】 【上間・アドリアナ(アルゼンチン)(修了番号3番)】 ～平成13年12月4日まで研修
平成13年10月10日 (2001年)			水産物共同処理加工施設工事完了(前兼久港内)
平成13年11月1日 (2001年)			第14第収入役として與儀清正氏が就任
平成13年11月2日 (2001年)			第3回世界のウンナンチュ大会(村出身者歓迎式:リザンシーパークホテル谷茶ベイ)
平成13年11月3日 (2001年)			比嘉昇一氏叙勲(勲5等双光旭日章(教育功労)受章(11月21日受章祝賀会開催))
平成13年11月30日 (2001年)			恩納村漁業協同組合創立30周年記念式典(かりゆしビーチリゾート恩納)
平成14年1月9日 (2002年)	9,903人		第3回海外移住者子弟研修生歓迎式(上間アドリアナ:アルゼンチン)3ヶ月研修
平成14年1月14日 (2002年)			神津善行(作曲家)、中村メイコ(女優)の両氏から卒業式の歌「愛を繋ごう」の贈呈式
平成14年2月9日 (2002年)	9,824人		喜瀬武原小学校創立45周年・喜瀬武原中学校創立40周年記念式典

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村 長	こ と が ら
平成14年4月1日 (2002年)			○第12代教育長として西銘宜寿氏が就任 ○仲本政夫氏を教育委員に任命 ○山田保育所落成式、子育て支援センター開所式
平成14年4月30日 (2002年)	9,827人		恩納村総合保険福祉センター落成式典及び祝賀会
平成14年6月1日 (2002年)	9,846人		恩納村海岸管理条例施行
平成14年7月20日 (2002年)	9,895人		○第19回うんなまつり開催(～21日まで(2日間)) ○復帰30周年記念式典(村制功労者で個人24名)
平成14年8月13日 (2002年)			第3回恩納村出身海外移住者子弟等研修生受入事業 【佐渡山・安幸(ポリビア)(修了番号4番)】 【ベレス・眞栄城・バネッサ(ポリビア)(修了番号5番)】 ～平成14年12月16日まで研修
平成14年8月14日 (2002年)			恩納中男子ソフトボール部が第2回全日本中学校ソフトボール大会で優勝
平成14年9月8日 (2002年)	9,908人		村議会議員選挙に21名立候補(有権者:7,488人、投票率:82.97%)
平成14年9月22日 (2002年)			農業委員会委員選挙に11名立候補(投票率87.91%)
平成14年9月28日 (2002年)	9,923人		議会議員に18人が就任(第20代議長:大城勝泰氏、第19代副議長:屋良朝信氏)
平成15年1月4日 (2003年)	9,903人		住民票、印鑑登録証明等自動交付機始動式(博物館)
平成15年1月12日 (2003年)			村長選挙で志喜屋文康氏当選(有権者7,544名、投票率78.53%)
平成15年1月24日 (2003年)		志喜屋 文康	第25代村長に志喜屋文康氏が就任(有権者7,544名、投票率78.53%)
平成15年3月7日 (2003年)			収入役に池宮城秀光氏が就任
平成15年3月29日 (2003年)	9,948人		仲松弥秀氏の地域文化功労者受賞祝賀会
平成15年4月1日 (2003年)			課設置条例の改正により、住民課を「村民課」に、保健福祉課を分課し、「福祉環境課」及び「健康増進課」に、新設として「沖縄科学技術大学院大学推進室」を設置
平成15年4月11日 (2003年)			沖縄新大学院大学の誘致先が恩納村に決定
平成15年5月11日 (2003年)			沖縄新大学院大学誘致決定祝賀会

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
平成15年6月26日 (2003年)	10,009人		恩納村民が1万人達成(1万人目:比嘉大耀(山田区))
平成15年7月19日 (2003年)			第20回うんなまつり開催(～20日まで(2日間))
平成15年7月23日 (2003年)			第4回恩納村出身海外移住者子弟等研修生受入事業 【石川・タダシ・ルイス・アンドレ(ブラジル)(修了番号6番)】 【棚原・栄作・エメルソン(日系2世:日本・ブラジル)(修了番号7番)】 ～平成15年10月23日まで研修
平成15年8月1日 (2003年)	10,001人		第16代助役に當山稔氏(2期目)が再任
平成15年9月1日 (2003年)	9,990人		県内初のオール電化となる恩納村立学校給食センターが稼働
平成15年9月24日 (2003年)			恩納村の「小ぎく」が農林水産戦略品目の拠点産地に認定
平成15年11月5日 (2003年)	10,001人		第1回恩納村子ども議会開催
平成16年4月1日 (2004年)	10,023人		課設置条例の改正により、水道課と下水道室を統合し、「上下水道課」を設置
平成16年7月14日 (2004年)			第5回恩納村出身海外移住者子弟等研修生受入事業 【前田・リンコン・朝光(ブラジル)(修了番号8番)】 【桑江・ファービオ・良春(ブラジル)(修了番号9番)】 ～平成16年10月21日まで研修
平成16年7月24日 (2004年)	10,105人		第21回うんなまつり開催(～25日まで(2日間))
平成17年2月10日 (2005年)	10,090人		○恩納村商工会創立30周年記念式典 ○赤間ボールパークにて韓国プロ野球三星ライオンズ球団春季キャンプ
平成17年5月23日 (2005年)	10,209人		元議員の仲本克一氏叙勲(旭日単光章)
平成17年6月22日 (2005年)			恩納村の「パッションフルーツ」が農林水産戦略品目の拠点産地に認定
平成17年6月25日 (2005年)	10,214人		赤間ボールパーク落成式及び記念式典 総事業費1,920百万
平成17年7月16日 (2005年)			山城裕次氏を監査委員に選任

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
平成17年7月20日 (2005年)			第6回恩納村出身海外移住者子弟等研修生受入事業 【上間・カロリーナ(アルゼンチン)(修了番号10番)】 【津嘉山・シンティア・さゆり(ブラジル)(修了番号11番)】 ～平成17年10月20日まで研修
平成17年7月23日 (2005年)	10,213人		第22回うんなまつり開催(～24日まで(2日間))
平成18年1月27日 (2006年)	10,255人		ペルー移住百周年記念式典(大城勝泰議長南米訪問(2月5日まで))
平成18年3月10日 (2006年)			當山君子議員が農林水産大臣賞(農山漁村女性チャレンジ活動)受賞
平成18年3月30日 (2006年)	10,266人		恩納村の「海ぶどう(クビレズタ)」が農林水産戦略品目の拠点産地に認定
平成18年4月1日 (2006年)			課設置条例の改正により、経済観光課を分課し、「商工観光課」及び「農林水産課」を設置
平成18年7月19日 (2006年)			第7回恩納村出身海外移住者子弟等研修生受入事業 【桑江・良満・ダニエル(ブラジル)(修了番号12番)】 ～平成18年10月18日まで研修
平成18年7月22日 (2006年)	10,308人		第23回うんなまつり開催(～23日まで(2日間))
平成18年9月10日 (2006年)			村議会議員選挙に18名立候補(有権者:7,950人、投票率:77.26%)し、今選挙から議員定数が16人となる。
平成18年9月28日 (2006年)	10,303人		議会議員に16人が就任(第21代議長:山城良一氏、第20代副議長:親泊一元氏)
平成18年12月1日 (2006年)	10,281人		喜瀬武原地区農業集落排水施設供用開始
平成19年1月3日 (2007年)	10,270人		元議員の外間現録氏叙勲、旭日單光章
平成19年1月14日 (2007年)			村長選挙に志喜屋文康氏が当選(有権者8,002名、無投票)
平成19年1月24日 (2007年)	10,276人	志喜屋 文康	第26代村長に志喜屋文康氏(2期目)が再任(有権者8,002名、無投票)
平成19年3月7日 (2007年)			第17代助役に池宮城秀光氏が就任
平成19年4月1日 (2007年)	10,295人		○恩納村初めての副村長として、初代副村長に池宮城秀光氏が就任 ○第13代教育長として西銘宜寿氏(2期目)が再任 ○課設置条例の改正により、福祉環境課及び健康増進課を統合し、「福祉健康課」に、「沖縄科学技術大学院大学推進室」を廃室

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
平成19年6月8日 (2007年)			○真栄田岬周辺活性化施設落成式 ○仲泊小中学校改築完了 ○ソン・ドン・ヨル三星ライオンズ監督を観光大使に任命
平成19年7月21日 (2007年)			第24回うんなまつり開催(～22日まで(2日間))
平成20年2月15日 (2008年)			恩納村の「ドラセナ類(切り葉)」が農林水産戦略品目の拠点産地に認定
平成20年4月1日 (2008年)	10,323人		○村制施行100周年 ○体育施設指定管理制度導入 ○「山田城跡」が国の文化財指定 ○元議員の宮平明緑氏叙勲(旭日単光章)
平成20年4月29日 (2008年)			元県副知事、元村長の比嘉茂政氏叙勲(瑞宝中綬章)
平成20年5月15日 (2008年)			ふれあい体験学習センター落成式典
平成20年7月1日 (2008年)	10,275人		谷茶多目的交流施設落成
平成20年7月19日 (2008年)			第25回うんなまつり開催(～20日まで(2日間))
平成20年12月1日 (2008年)	10,311人		元村長の大城保晴氏叙勲(旭日双光章)
平成21年2月12日 (2009年)	10,317人		国指定史跡「国頭方西海道」にフェーレー岩が追加指定
平成21年4月1日 (2009年)	10,286人		第14代教育長として石川哲夫氏が就任
平成21年7月15日 (2009年)			第8回恩納村出身海外移住者子弟等研修生受入事業 【国吉・プリシーラ・千恵美(ブラジル)(修了番号13番)】 ～平成21年10月15日まで研修
平成21年7月18日 (2009年)			第26回うんなまつり開催(～19日まで(2日間))
平成21年10月19日 (2009年)			平成27年(2005年)から本村で春季キャンプを行っている三星ライオンズが発の秋季キャンプ
平成21年11月1日 (2009年)	10,381人		恩納南パイパス一部供用開始
平成22年3月2日 (2010年)	10,401人		カフーリゾート沖縄グランドオープン

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことがら
平成22年3月18日 (2010年)			大学院大学新研究施設開所
平成22年4月7日 (2010年)	10,401人		恩納村立火葬葬祭場落成式
平成22年4月16日 (2010年)			真栄田岬シャワー室落成式
平成22年4月22日 (2010年)			海浜公園管理棟落成式
平成22年7月24日 (2010年)			第27回うんなまつり開催(～25日まで(2日間))
平成22年8月6日 (2010年)	10,430人		ちゅら島沖縄総体2010男子ソフトボール大会が恩納村赤間運動場で開会式
平成22年8月27日 (2010年)			瀬良垣漁港開港
平成22年9月12日 (2010年)			議会議員選挙(有権者:8,174人、投票率71.45%)
平成22年9月28日 (2010年)	10,433人		議会議員として16名が就任(第22代議長:山城郁夫氏、第21代副議長:仲田豊氏)(有権者:8,174人、投票率:71.45%)
平成23年1月16日 (2011年)	10,429人		村長選挙で志喜屋文康氏が当選(投票率69.97%)
平成23年1月21日 (2011年)			故比嘉茂政氏が特指叙位を授章
平成23年1月24日 (2011年)	10,429人	志喜屋 文康	第27代村長に志喜屋文康氏(3期目)が再任(有権者8,189名、投票率69.97%)
平成23年4月1日 (2011年)	10,435人		第2代副村長に池宮城秀光氏(2期目)が再任 村税のコンビニ収納が始まる。 図書館準備室設置
平成23年5月11日 (2011年)			恩納村の「モズク」が農林水産戦略品目の拠点産地に認定
平成23年6月3日 (2011年)	10,488人		恩納村観光大使に益子直美氏を任命
平成23年7月20日 (2011年)			第9回恩納村出身海外移住者子弟等研修生受入事業 【真栄城・弥生(日系2世:ポリビア)(修了番号14番)】 ～平成23年10月20日まで研修
平成23年7月23日 (2011年)			第28回うんなまつり開催(～24日まで(2日間))

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村 長	こ と が ら
平成23年12月7日 (2011年)	10,495人		銘苺宗和氏が天皇杯・農林水産大臣賞ダブル受賞 祝賀会
平成24年3月29日 (2012年)			恩納村の「アテモヤ」が農林水産戦略品目の拠点産 地に認定
平成24年4月1日 (2012年)	10,491人		教育委員会の学校教育課及び社会教育課を統合 し、「教育課」を設置
平成24年4月27日 (2012年)			村内初の指定児童多機能型支援事業所開所
平成24年7月18日 (2012年)			第10回恩納村出身海外移住者子弟等研修生受入 事業 【藤崎・ヴィニシウス(修了番号15番)】 ～平成24年10月12日まで研修
平成24年7月24日 (2012年)	10,531人		第29回うんなまつり開催(～25日まで(2日間))
平成24年9月1日 (2012年)	10,531人		沖縄科学技術大学院大学(OIST)開学 6日には34人の学生の入学式が行われた。
平成24年11月19日 (2012年)			第32回全国豊かな海づくり大会において、天皇皇后 両陛下来村(行幸啓)
平成25年2月1日 (2013年)	10,470人		恩納村赤間多目的運動場落成式 18日にはドームの記念碑除幕式が行われた。
平成25年4月1日 (2013年)	10,439人		○第15代教育長として石川哲夫氏(2期目)が再任 ○教育委員会の教育課を「学校教育課」及び「社会教 育課」に分課
平成25年6月27日 (2013年)			ホテルモンテ沖縄スパ&リゾートオープン
平成25年7月21日 (2013年)			第11回恩納村出身海外移住者子弟等研修生受入 事業 【ヴェレス・真栄城・ミカエラ・エミコ(日系4世:ポリビア) (修了番号16番)】 ～平成25年10月21日まで研修
平成25年7月27日 (2013年)	10,783人		第30回うんなまつり開催(～28日まで(2日間))
平成25年10月1日 (2013年)	10,809人		恩納村ダム建設事務所(安富祖ダム)開設
平成25年10月21日 (2013年)			ソフトボールが縁で北海道石狩市と友好都市提携及 び災害時等における相互応援等に関する協定書調印
平成26年5月27日 (2014年)	10,791人		赤間総合運動公園「キャンプ・ハンセン等周辺改修工 事(屋外運動場)助成事業」、ウォーキングロード及び 駐車場等「沖縄北部連携促進特別振興事業(赤間総 合運動公園機能高度化事業)」落成式典及び祝賀会

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことがら
平成26年7月19日 (2014年)			第31回うんなまつり開催(～20日まで(2日間))
平成26年8月2日 (2014年)	10,846人		防衛のまちづくり支援事業を活用して建設された瀬良垣多目的交流施設(公民館)落成記念式典及び祝賀会開催
平成26年8月12日 (2014年)			コロニア・オキナワ入植60周年記念式典・カンボグランデ入植100周年記念式典が南米にて開催
平成26年8月24日 (2014年)			防衛のまちづくり支援事業を活用して建設された太田多目的交流施設(公民館)落成記念式典及び祝賀会開催
平成26年9月1日 (2014年)	10,847人		議会議員当選証書付与式
平成26年9月17日 (2014年)			議会議員として16人が就任(第23代議長:仲田豊氏、第22代副議長:喜納正誠氏)
平成26年10月28日 (2014年)	10,888人		恩納村史(自然編)出版祝賀会を恩納村コミュニティーセンターで開催
平成26年11月26日 (2014年)			恩納村文化情報センター完成式典
平成27年1月24日 (2015年)	10,877人	長浜 善巳	第28代村長に長浜善巳氏が初就任し、1月26日に就任式開催(有権者8,186名、投票率67.9%)
平成27年2月24日 (2015年)			第3代副村長に外間毅氏が就任
平成27年4月23日 (2015年)	10,841人		恩納村文化情報センターオープニングセレモニーが行われ、当日に北海道石狩市との友好図書館調印式典が開催された。また、開館34日目の6月6日に来館者1万人を突破
平成27年6月18日 (2015年)			現恩納村観光大使である元サムスン(韓国球団)監督のソン・ドンヨル氏を名誉観光大使として任命
平成27年7月18日 (2015年)			第32回うんなまつり開催(～19日まで(2日間))
平成27年8月5日 (2015年)	10,873人		恩納村・うるま市で「災害時における総合応援に関する協定」調印式をうるま市役所で開催し、内容としては、大規模災害が発生し、被害を受けた市または村が独自では十分に被害者の救援等応援措置が実施できない場合に、相互に応援協力することとしている。
平成27年9月30日 (2015年)	10,940人		琉球村・國場家住宅登録有形文化財指定プレート伝達式
平成27年10月3日 (2015年)			4,000発の色鮮やかな花火を打ち上げた第3回恩納村美ら海花火大会を開催
平成27年11月30日 (2015年)	10,911人		村内の中学校を代表とする16人の生徒が議員として、恩納村議会議場にて「子ども議会」を開催

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
平成28年1月20日 (2016年)			中小企業庁の「ふるさと名物応援宣言」の制度を活用し、自治体連帯による共同宣言は、全国で初となる名護市、恩納村、読谷村共同での「沖縄リゾートウエディング応援宣言」を読谷村のホテル日航アリビラで開催
平成28年1月28日 (2016年)	10,900人		恩納村「教育の日」関連表彰式
平成28年3月23日 (2016年)			恩納村の「アーサ(ヒトエグサ)」が農林水産戦略品目の拠点産地に認定
平成28年4月1日 (2016年)	10,921人		一般社団法人恩納村観光協会発足
平成28年4月11日 (2016年)			恩納村、金武町、宜野座村及び石川警察署で、恩納村及び隣接地域で重大な危険を及ぼすおそれのある犯罪が発生した場合、恩納村防災行政無線により注意を促し住民等の安全を確保することを目的として「防災行政無線の活用に関する覚書」締結
平成28年5月1日 (2016年)			恩納村海外移住者子弟等研修に係る調査 【ブラジル・ボリビア(恩納村:長浜善巳村長 他2名)】 ～平成28年5月13日まで
平成28年6月1日 (2016年)	10,968人		シェラトン・オキナワ・サンマリーナオープニングセレモニー
平成28年7月13日 (2016年)			沖縄科学技術大学院大学(OIST)臨海実験施設開所式
平成28年7月23日 (2016年)	11,005人		○第33回うんなまつり開催(～24日まで(2日間)) ○村民11,000人達成
平成28年9月17日 (2016年)			前兼久区交流施設落成記念式典
平成28年10月29日 (2016年)	11,005人		第6回世界のウンナンチュ大会をホテルムーンビーチにて開催し、海外から来村した31名を含む約200名が参加し、同日に5,000発の色鮮やかな花火を打ち上げた第2回恩納村美ら海花火大会を開催
平成28年11月6日 (2016年)			名誉村民第1号の渡久地政信生誕100周年記念事業歌謡ショーを奄美竜郷町にて開催
平成28年11月12日 (2016年)			太田区創立70周年記念式典
平成28年11月25日 (2016年)			安富祖ダム定礎式を安富祖公民館で開催
平成28年12月4日 (2016年)	10,988人		名誉村民第1号の「渡久地政信生誕100周年事業」として昭和歌謡と渡久地メロディー・三沢あけみ歌謡ショーを体験学習センター(ゆうなホール)にて開催

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことがら
平成29年2月3日 (2017年)			長野県川上村・沖縄県恩納村友好都市提携に関する盟約書及び災害時における相互応援に関する協定書調印式をリザンシーパークホテル谷茶ベイにて開催
平成29年3月26日 (2017年)			谷茶前の碑除幕式
平成29年4月1日 (2017年)	10,947人		○第16代教育長として當山欽也氏が就任 ○国道58号線恩納交差点から瀬良垣北交差点までの5.5kmで午後10時から午前4時までの間、夜間のバイク通行を禁止する「二輪車夜間通行禁止」の交通規制開始
平成29年4月19日 (2017年)			恩納村、金武町、宜野座村と石川警察署の間で、家族が同意し、提供した個人情報をもとに、県警の行方不明者情報管理システムに登録することにより、万が一認知症高齢者等が行方不明になった時に、迅速な手配、捜索に取りかかることができる「認知症高齢者等の見守り及び安全支援に関する協定」締結
平成29年7月22日 (2017年)	10,979人		第34回うんなまつり開催(～23日まで(2日間))
平成29年8月20日 (2017年)			第12回恩納村出身海外移住者子弟等研修生受入事業 【渡久地・ミシェル・清子(日系4世:アメリカ)(修了番号17番)】 【棚原・国広・アンドレ(日系2世:日本・ブラジル)(修了番号18番)】 ～平成30年2月22日まで研修
平成29年10月7日 (2017年)	11,015人		名嘉真区多目的施設落成記念式典
平成30年1月9日 (2018年)			第1期恩納村青年海外派遣事業 【山城修吾(恩納)(恩納村派遣第1号)】 【長濱茜(宇加地)(恩納村派遣第2号)】 ～平成30年2月10日まで研修
平成30年2月3日 (2018年)	10,963人		恩納村立文化協会創立25周年記念式典
平成30年2月10日 (2018年)			恩納村産業まつりにおいて、友好都市である長野県川上村(藤原忠彦村長)より長野県天然記念物に指定される川上犬の贈呈式を開催し、名前を「うんなレ助」と命名
平成30年2月17日 (2018年)			沖縄宇宙通信所・解説50周年記念式典
平成30年3月5日 (2018年)			「サンゴの村宣言」キックオフイベント
平成30年3月8日 (2018年)			恩納国道南バイパス暫定開通式

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村 長	こ と が ら
平成30年3月28日 (2018年)			○平成12年3月27日の恩納村新庁舎落成式で封入されたタイムカプセル開封式を開催し、中には庁舎の設計図面や落成記念パンフレットのほか、「萬座」1小瓶が封入されていた。 ○恩納村の「観葉鉢物」が農林水産戦略品目の拠点産地に認定
平成30年4月1日 (2018年)	11,001人		恩納村教育委員会に、中学校統合に向けた「中学校統合推進室」設置
平成30年7月21日 (2018年)			サンゴの村宣言 サンゴの村宣言は、7月21日に開催予定であった第35回うんなまつりで宣言する予定であったが、台風接近により延期され、うんなまつりは翌週の7月28日～29日(2日間)に実施された。
平成30年8月11日 (2018年)			築50年以上が経過し、老朽化が著しかった富着公民館(富着164番地1～879番地へ)が、恩納村特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金を活用し富着区交流施設落成記念式典
平成30年8月21日 (2018年)			ハイアットリージェンシー瀬良垣アイランドがグランドオープン
平成30年9月21日 (2018年)			第13回恩納村出身海外移住者子弟等研修生受入事業 【平田・カート・憲一(日系4世:アメリカ)(修了番号19番)】 【棚原・カレン・栄子(日系3世:日本・ブラジル)(修了番号120番)】 ～平成31年2月20日まで研修
平成30年9月28日 (2018年)	11,100人		議会議員として16人が就任(第24代議長:又吉薫氏、第23代副議長:又吉貢氏)
平成30年11月10日 (2018年)			1908年(明治41年)4月の島嶼町村制により、恩納間切りから恩納村になって110年を迎え、この節目として村制施行110周年記念式典が開催され、300人が出席し、村の節目を祝った。 同式典で恩納村政功労者(自治功労:12名、教育功労:7名、厚生功労:7名、文化功労:1名、スポーツ功労:2名、観光功労:1名、産業功労6名)36名が表彰
平成31年1月9日 (2019年)			第2期恩納村青年海外派遣事業 【玉城悠(前兼久)(恩納村派遣第3号)】 【比屋根良直(太田)(恩納村派遣第4号)】 ～平成31年2月10日まで研修
平成31年1月24日 (2019年)	11,022人	長浜 善巳	第29代村長に長浜善巳氏(2期目)が再任(無投票)
平成31年2月24日 (2019年)			第4代副村長に外間毅氏(2期目)が再任

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことがら
平成31年3月16日 (2019年)			劉衛流龍鳳会(空手)の佐久本嗣男氏が恩納村で2人目の名誉村民として名誉村民推挙式及び祝賀会を体験学習センター(ゆうなホール)で開催し、佐久本嗣男氏の基調講演や祝賀会では、日本代表の喜友名諒選手、金城新選手、上村拓也選手など劉衛流龍鳳会門下生が迫力ある演武を披露した。
令和1年7月1日 (2019年)	11,141人		「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定され、内閣府で選定書授与式
令和1年7月19日 (2019年)			恩納村と郵便局が、地域の皆様が安心して暮らせる地域づくり(郵便局の業務中に高齢者や子どもの異変、道路の破損、不法投棄の発見など情報提供)を実現することを目的とした「恩納村地域における協力に関する協定」を締結
令和1年8月20日 (2019年)			劉衛流龍鳳会(空手)(佐久本嗣男氏)が国際平和記念奉納演武を恩納村海浜公園で開催し、欧米やアジアなど33の国・地域から空手家が約800人集結
令和1年9月3日 (2019年)	11,197人		第14回恩納村出身海外移住者子弟等研修生受入事業 【大工廻(ダクジャク)・ルーカス・ケンゾ(日系4世:ブラジル)(修了番号21番)】 ～令和2年2月7日まで研修
令和1年9月5日 (2019年)			沖縄科学技術大学院大学(OIST)と災害時における指定避難場所協定書締結
令和1年10月31日 (2019年)	11,161人		沖縄の歴史と文化を象徴する首里城正殿を始め7棟が火災により焼失
令和1年11月13日 (2019年)			恩納村文化情報センターがパシフィコ横浜で開催されたライブラリー・オブ・ザ・イヤー2019で、沖縄県内の図書館では初の優秀賞を受賞
令和2年1月11日 (2020年)			第3期恩納村青年海外派遣事業 【比嘉紀和子(山田)(恩納村派遣第5号)】 【松崎加奈子(安富祖)(恩納村派遣第6号)】 【玉城里那(前兼久)(恩納村派遣第7号)】 ～令和2年2月7日まで研修
令和2年1月17日 (2020年)			島袋正重氏が令和元年度秋の叙勲(瑞宝双光章)受章
令和2年3月7日 (2020年)			中学校統合により、安富祖中学校、喜瀬武原中学校、恩納中学校、仲泊中学校、山田中学校の5校最後の卒業式開催
令和2年4月1日 (2020年)	11,066人		○第17代教育長として當山欽也氏(2期目)が再任 ○課設置条例改正により「福祉健康課」を「福祉課」及び「健康保険課」に分課 ○恩納村立うんな中学校開校による奉告式が開催されたが、新型コロナウイルス感染症の影響により入学式は5月21日となった。
令和2年4月20日 (2020年)			令和2年4月22日から5月6日の間、新型コロナウイルス感染症による沖縄県の緊急事態宣言発出

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人口	村長	ことごと
令和2年4月27日 (2020年)			国の施策として、新型コロナウイルス感染症の影響による対策として令和2年4月27日を基準日として、5月7日～8月16日の間、村内の事業所で使用できる村民1人につき10万円分の現金を給付する「特別定額給付金事業」を実施
令和2年5月5日 (2020年)			令和2年4月22日から5月6日の間に発出されていた新型コロナウイルス感染症による沖縄県の緊急事態宣言を5月31日まで延長
令和2年7月1日 (2020年)	11,093人		新型コロナウイルス感染症の影響による景気回復支援対策として令和2年7月1日から12月31日の間、村内の事業所で使用できる村民1人につき1万円分の「恩納村景気回復支援商品券」を発行
令和2年7月20日 (2020年)			琉球村の咲元酒造株式会社の新工場落成式
令和2年7月31日 (2020年)			令和2年8月1日から8月15日の間、2回目となる新型コロナウイルス感染症による沖縄県の緊急事態宣言発出
令和2年8月13日 (2020年)			令和2年8月1日から8月15日の間に発出されていた新型コロナウイルス感染症による沖縄県の緊急事態宣言を8月29日まで延長
令和2年8月28日 (2020年)			令和2年8月1日から8月29日の間に発出されていた新型コロナウイルス感染症による沖縄県の緊急事態宣言を更に9月5日まで延長
令和2年9月29日 (2020年)	10,998人		第1回うんな中学校体育祭 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため種目は縮小となったが、中学校統合後初の体育祭開催
令和2年10月2日 (2020年)			駐車場不足や休憩施設が無いことなどが課題となっていた観光施設として、万座毛周辺活性化施設が完成し、オープンした。10月4日には万座毛周辺活性化施設落成式典を開催
令和2年11月28日 (2020年)			恩納村立うんな中学校開校記念式典及び村政功労者(教育功労)表彰式(受賞者:大城英喜氏、伊波肇氏、西銘宜寿氏、石川哲夫氏)
令和3年1月19日 (2021年)			令和3年1月20日から2月7日の間、3回目となる新型コロナウイルス感染症による沖縄県独自の緊急事態宣言発出
令和3年2月4日 (2021年)			令和3年1月20日から2月7日の間に発出されていた新型コロナウイルス感染症による沖縄県の緊急事態宣言を2月28日まで延長
令和3年3月6日 (2021年)			恩納村立うんな中学校初めての卒業証書授与式
令和3年3月28日 (2021年)	11,112人		名嘉真区に津波等災害時の避難路として機能を果たす「ひなん橋」完成式典
令和3年5月1日 (2021年)			恩納村で75才以上を対象とした第1回目の大規模新型コロナウイルスワクチン接種
令和3年5月20日 (2021年)			令和3年5月23日から6月20日の間、4回目となる新型コロナウイルス感染症による沖縄県の緊急事態宣言発出

恩納村のあゆみ

年代 和暦 (西暦)	人 口	村 長	こ と が ら
令和3年6月1日 (2021年)	11,139人		新型コロナウイルス感染症の影響による景気回復支援対策として2回目となる令和3年6月1日から9月30日の間、村内の事業所で使用できる村民1人につき5千円分の「恩納村景気回復支援商品券」を発行
令和3年7月12日 (2021年)			東京オリンピック2020開催に伴い、7人制ラグビーのアルゼンチン代表が恩納村赤間総合運動公園を活用し7月21日までの10日間の事前合宿を行った。7月28日の3位決定戦において、見事銅メダルと獲得
令和3年7月23日 (2021年)	11,140人		東京オリンピック2020が令和3年7月23日から8月8日までの17日間開催され、日本は、過去最多となる金メダル27個、銀メダル14個、銅メダル22個の合計58個を獲得し、国別メダルランキングでも、1位米国、2位中国に次いで3位を獲得した。 さらに、空手(男子:形)で沖縄県出身者として初めて恩納村名誉村民である佐久本嗣男氏の愛弟子の喜友名諒選手が金メダルを獲得し、閉会式では、日本選手団の旗手を務めた。